

第 2 次菊川市環境基本計画策定に係るアンケート調査について

1. 次期環境基本計画について

第 1 次菊川市環境基本計画は、菊川市環境基本条例第 8 条に基づき環境の保全・創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため現計画が策定されました。

現計画は、平成 22 年度から平成 31 年度までの 10 年間を計画期間とし、中間年度の平成 26 年度に見直しを実施しています。

今回、現計画が平成 31 年度で満了することから次期計画を平成 30、31 年度の 2 カ年度で策定します。

また次期計画では、第 2 次菊川市総合計画の環境面において、地球温暖化対策の推進を図っていくことが盛り込まれていることから、市の区域全体を対象とした「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を含めた計画とします。

2. 策定に係る年度別取組み内容(案)

平成 30 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の基本的事項の検討 ・環境の現状把握の検討 ・アンケート調査（市民・事業所）の実施 ・計画の環境像、環境目標、方針の検討
平成 31 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・施策、取組み内容、指標及び目標値の検討 ・計画の推進体制、進行管理の検討 ・市民意見の公募（パブリックコメント） ・環境基本計画及び概要版の作成、印刷納品

3. 菊川市環境審議会スケジュール（予定）

平成 30 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○第 1 回環境審議会（本日） <ul style="list-style-type: none"> ・計画策定の趣旨、スケジュールの説明 ・アンケート調査の実施結果 ・計画案（計画の基本的事項、市の環境の現状）の説明
	<ul style="list-style-type: none"> ○第 2 回環境審議会（3 月中旬頃） <ul style="list-style-type: none"> ・計画案（環境像、環境目標、方針）の説明
平成 31 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○第 1 回環境審議会（11 月上旬頃） <ul style="list-style-type: none"> ・計画案（施策、取組み内容、指標及び目標値、推進体制、進行管理）の説明
	<ul style="list-style-type: none"> ○第 2 回環境審議会（2 月中旬頃） <ul style="list-style-type: none"> ・計画（最終案）の説明

4. アンケート調査(市民対象・事業所対象)の回収状況及び結果について

(1) 調査の目的

環境基本計画策定にあたって、市及び市民・事業者を取り巻く様々な環境の状況を把握し、市民及び事業者の意識等を捉えるため、アンケート調査を実施する。アンケートにより把握した現状や市民・事業者の意識等を環境基本計画に反映していくことを目的とする。

(2) アンケート調査の回収状況

項目	対象者及び対象配布数	回収数(回収率)	抽出方法
市民アンケート調査	市民 2,000	760 (38.0%)	住民基本台帳から無作為抽出
事業所アンケート調査	市内の事業所 150	75 (50.0%)	平成26年度経済センサス基礎調査データによる業種別事業所数を活用して抽出

◇郵送による調査票の配布・回収にて実施

◇実施期間：平成30年8月29日(水)～9月11日(火)

(3) アンケート調査の結果

別添アンケート調査(市民対象・事業所対象)結果報告書による。

平成 30 年度 第 2 次菊川市環境基本計画策定に関するアンケート調査（市民対象）
結果報告書

発送数	回答数	回収率
2,000	760	38.0%

無作為抽出により 2,000 通のアンケートを配布し、760 通の回答を得た。回収率は 38.0%である。

※比率（%）について

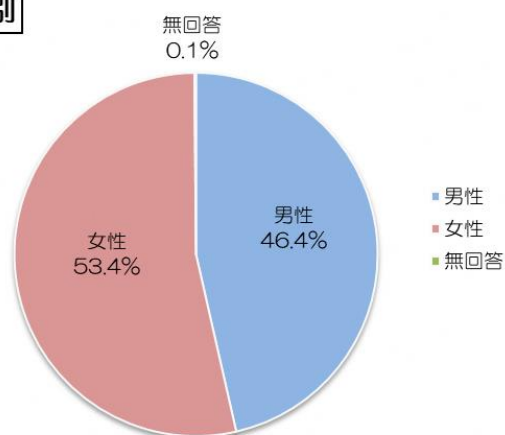
- ・ 小数点以下第 2 位を四捨五入して算出したため、比率（%）の合計が 100%にならないことがある。

1. 回答者の基本情報について

問 1 性別	(1) 男性	(2) 女性
--------	--------	--------

項目	回答数	比率 (%)
男性	353	46.4%
女性	406	53.4%
無回答	1	0.1%
計	760	100.0%

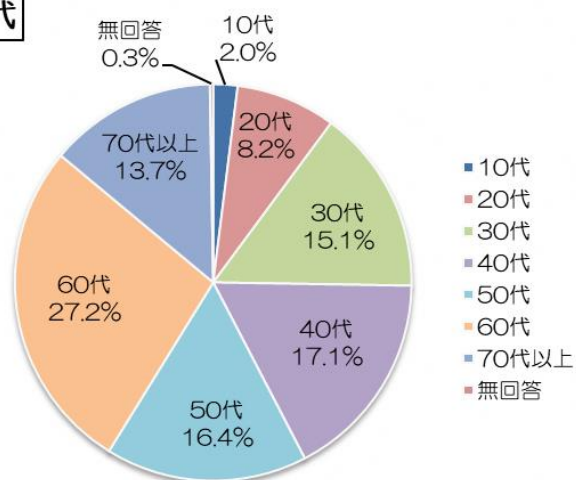
性別



問 2 年齢	(1) 10代	(2) 20代
	(3) 30代	(4) 40代
	(5) 50代	(6) 60代
	(7) 70代以上	

項目	回答数	比率 (%)
10代	15	2.0%
20代	62	8.2%
30代	115	15.1%
40代	130	17.1%
50代	125	16.4%
60代	207	27.2%
70代以上	104	13.7%
無回答	2	0.3%
計	760	100.0%

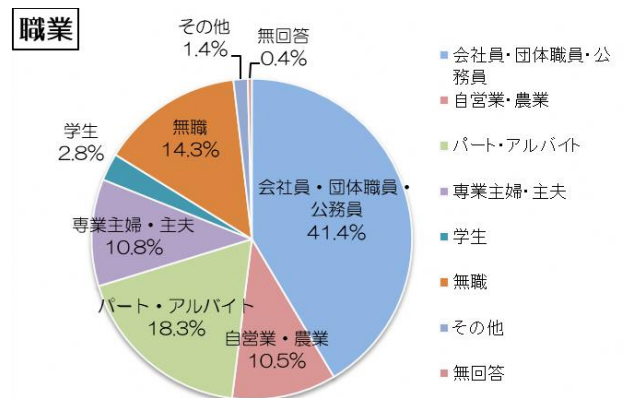
年代



- ・ 回答者は【女性】の割合が【男性】を7%上回っている。
- ・ 【40～60代】の年齢層が多く、【60代】の回答者が27.2%と最多となっている。

問3 職業	(1) 会社員・団体職員・公務員 (3) パート・アルバイト (5) 学生 (7) その他 ()	(2) 自営業・農業 (4) 専業主婦・主夫 (6) 無職
----------	--	-------------------------------------

項目	回答数	比率 (%)
会社員・団体職員・公務員	315	41.4%
自営業・農業	80	10.5%
パート・アルバイト	139	18.3%
専業主婦・主夫	82	10.8%
学生	21	2.8%
無職	109	14.3%
その他	11	1.4%
無回答	3	0.4%
計	760	100.0%

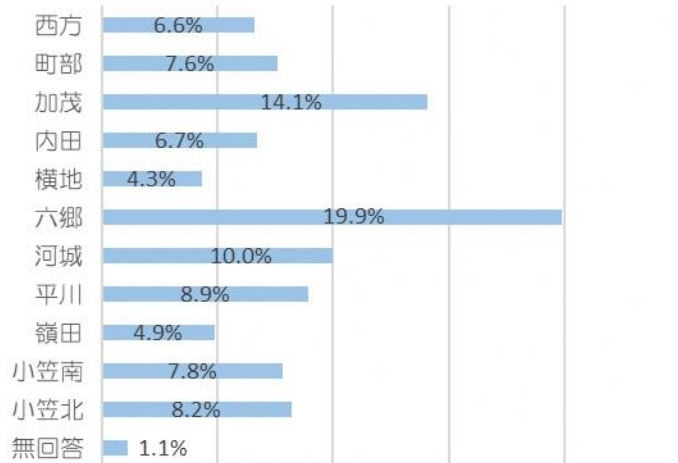


- ・ 最も多いのは【会社員・団体職員・公務員】で、次いで【パートアルバイト】が18.3%、【専業主婦・主夫】が10.8%であった。

問4 居住地区	(1) 西方 (3) 加茂 (5) 横地 (7) 河城 (9) 嶺田 (11) 小笠東	(2) 町部 (4) 内田 (6) 六郷 (8) 平川 (10) 小笠南
------------	--	--

項目	回答数	比率 (%)
西方	50	6.6%
町部	58	7.6%
加茂	107	14.1%
内田	51	6.7%
横地	33	4.3%
六郷	151	19.9%
河城	76	10.0%
平川	68	8.9%
嶺田	37	4.9%
小笠南	59	7.8%
小笠東	62	8.2%
無回答	8	1.1%
計	760	100.0%

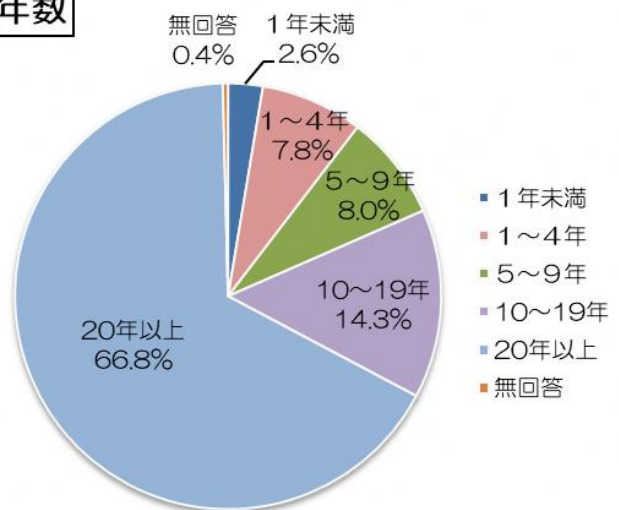
居住地区



問5 居住年数	(1) 1年未満	(2) 1～4年
	(3) 5～9年	(4) 10～19年
	(5) 20年以上	

項目	回答数	比率 (%)
1年未満	20	2.6%
1～4年	59	7.8%
5～9年	61	8.0%
10～19年	109	14.3%
20年以上	508	66.8%
無回答	3	0.4%
計	760	100.0%

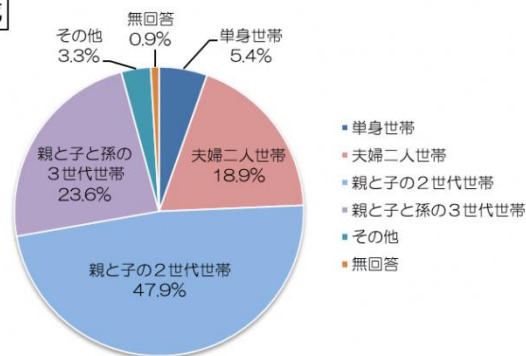
居住年数



問6 家族構成	(1) 単身世帯	(2) 夫婦二世帯
	(3) 親と子の2世代世帯	(4) 親と子と孫の3世代世帯
	(5) その他 ()	

項目	回答数	比率 (%)
単身世帯	41	5.4%
夫婦二世帯	144	18.9%
親と子の2世代世帯	364	47.9%
親と子と孫の3世代世帯	179	23.6%
その他	25	3.3%
無回答	7	0.9%
計	760	100.0%

家族構成

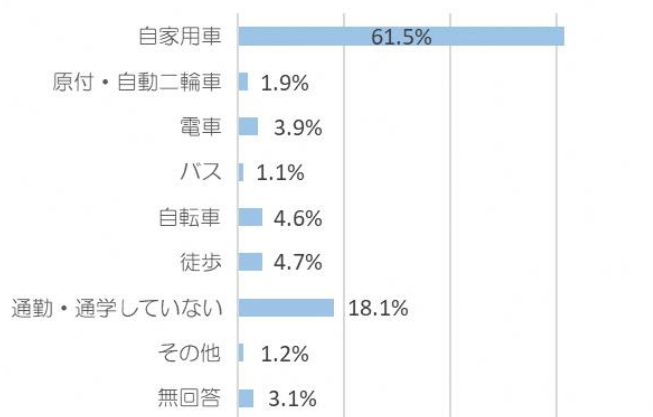


- ・ 居住地区は【六郷】が19.9%と最多であり、次いで【加茂】の14.1%、【河城】10%である。
- ・ 【20年以上】居住の割合が圧倒的に高く66.8%であるのが特徴的である。
- ・ 【親と子の2世代世帯】が47.9%と最多である。

問7 通勤・ 通学手段	当てはまるものに全て○をつけてください。	
	(1) 自家用車 (3) 電車 (5) 自転車 (7) 通勤・通学していない	(2) 原付・自動二輪車 (4) バス (6) 徒歩 (8) その他 ()

項目	選択率	比率 (%)
自家用車	522	61.5%
原付・自動二輪車	16	1.9%
電車	33	3.9%
バス	9	1.1%
自転車	39	4.6%
徒歩	40	4.7%
通勤・通学していない	154	18.1%
その他	10	1.2%
無回答	26	3.1%
計	849	100.0%

通勤・通学手段



- ・ 【自家用車】が最も高く、61.5%と約6割を占め、続く【通勤・通学していない】の18.1%と合わせ8割近くを占めている。
- ・ 【その他】の記述内容を下記に示す。

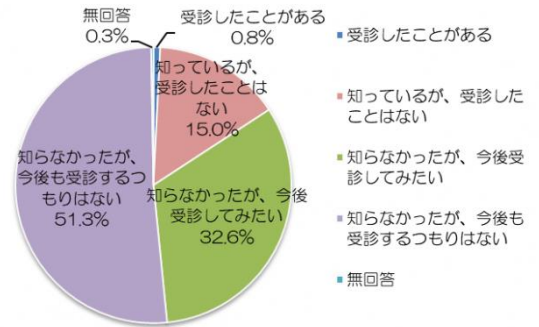
・ 新幹線	・ 駅まで親の送迎	コミュニティバス
-------	-----------	----------

【問 10】あなたは、「家庭エコ診断制度（うちエコ診断）」をご存じですか。また、受診したことはありますか。

(1) 受診したことがある	(2) 知っているが、受診したことはない
(3) 知らなかったが、今後受診してみたい	(4) 知らなかったが、今後も受診するつもりはない

項目	回答数	比率 (%)
受診したことがある	6	0.8%
知っているが、受診したことはない	114	15.0%
知らなかったが、今後受診してみたい	248	32.6%
知らなかったが、今後も受診するつもりはない	390	51.3%
無回答	2	0.3%
計	760	100.0%

「うちエコ診断」について



- ・ 「COOL CHOICE」については、【知っているが、賛同登録していない】【知らなかった】が全体の過半数を占めている。
- ・ うちエコ診断への認知度は全体の 15.8%程度であり、大多数が認知していないという結果であった。

【問 11】あなたは、携帯電話のポイントアプリを活用した地球温暖化のための県民運動「ふじのくに COOL チャレンジ クルポ」をご存じですか。また、本取組に菊川市内の公共施設や民間施設が参加していることをご存じですか。

1. クルポについて	(1) 知っていた (2) 知らなかった
2. 菊川市の参加状況について	(1) 知っていた (2) 知らなかった

項目	クルポについて		本市の参加状況について	
	回答数	比率 (%)	回答数	比率 (%)
知っていた	23	3.0%	13	1.7%
知らなかった	731	96.2%	745	98.0%
無回答	6	0.8%	2	0.3%
計	760	100.0%	760	100.0%

- ・ 「クルポ」については県民運動であるが、現状では十分な周知は図れていないため、今後の普及啓発活動が課題となる。

【問 12】あなたは、菊川市内の自治会毎のごみ収集日などを確認することができる「5374（ごみなし）アプリ」をご存知ですか。また、利用したことはありますか。

1. 認知度	(1) 知っていた (2) 知らなかった
2. 利用状況	(1) 使ったことがある (2) 使ったことはないが、今後利用したい (3) 使ったことはなく、今後も利用しない

項目	回答数	比率 (%)
知っていた	71	9.3%
知らなかった	682	89.7%
無回答	7	0.9%
計	760	100.0%

項目	回答数	比率 (%)
使ったことがある	26	3.4%
使ったことはないが、今後利用したい	293	38.6%
使ったことはなく、今後も利用しない	426	56.1%
無回答	15	2.0%
計	760	100.0%

- ・ 「5374 アプリ」についても同様に、【知らなかった】が 89.7%と 9 割近くを占めている。
- ・ スマートフォンを活用したアプリケーションについては、回答者の年齢層が中高年代に多いことが理由として考えられる。
- ・ 「COOL CHOICE」「うちエコ診断」ともに環境省の推進する国民運動・制度であるが、認知度という点では未だ十分な周知が図れていないため、今後の普及啓発が課題となる。

【問 13】再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器についてお伺いします。次の各項目における「設備の認知度」をA欄の番号の中から、「設備の導入状況や導入予定」をB欄の番号の中から、当てはまるものをそれぞれ1つずつ選んで番号に○印をつけてください。

項目	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電 ・太陽熱温水器 ・高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズ、エコウィル等） ・家庭用燃料電池（エネファーム） ・定置用リチウムイオン蓄電池 ・HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム） ・エコカー（ハイブリッド、電気自動車等） ・省エネ効率が高い家電製品（トップランナー機器） ・高断熱窓・内窓、外壁・屋根・天井・床用断熱材
A：認知度	(1) 知っている (2) 聞いたことがある (3) 知らなかった
B：導入状況	(1) 導入している (2) 導入を検討したい (3) 導入したいと思わない (4) わからない

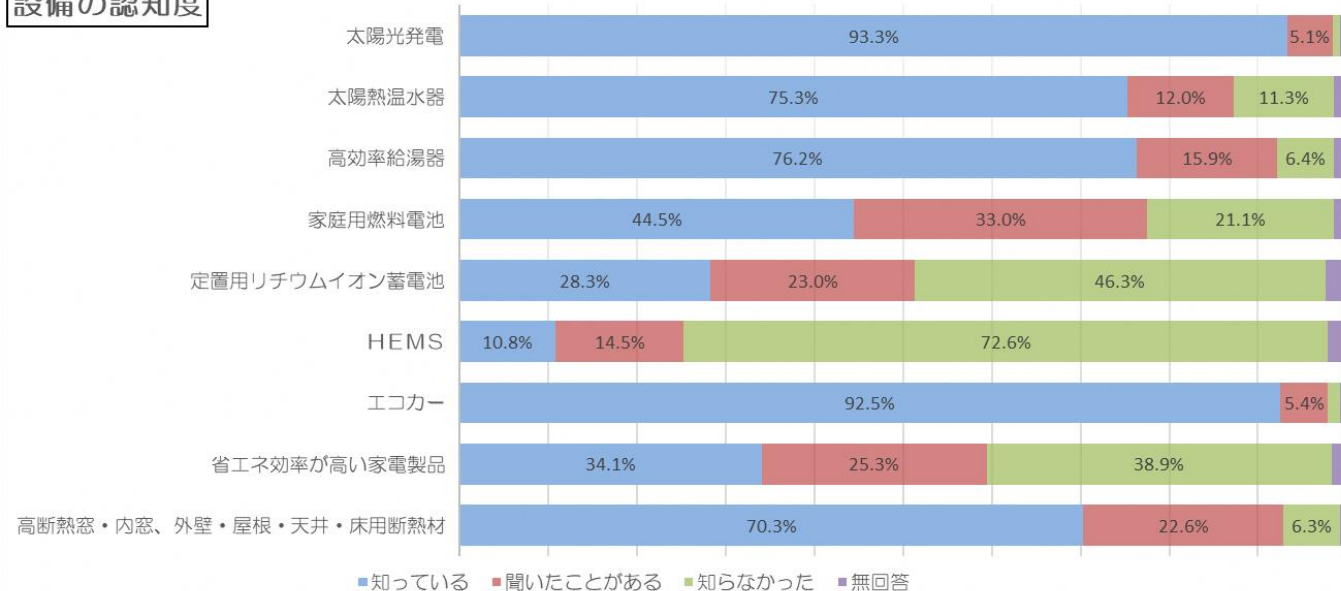
A. 設備の認知度について

項目	知っている	聞いたことがある	知らなかった	無回答	合計
太陽光発電	709	39	7	5	760
	93.3%	5.1%	0.9%	0.7%	100.0%
太陽熱温水器	572	91	86	11	760
	75.3%	12.0%	11.3%	1.4%	100.0%
高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズ、エコウィル等）	579	121	49	11	760
	76.2%	15.9%	6.4%	1.4%	100.0%
家庭用燃料電池（エネファーム）	338	251	160	11	760
	44.5%	33.0%	21.1%	1.4%	100.0%
定置用リチウムイオン蓄電池	215	175	352	18	760
	28.3%	23.0%	46.3%	2.4%	100.0%
HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）	82	110	552	16	760
	10.8%	14.5%	72.6%	2.1%	100.0%
エコカー（ハイブリッド、電気自動車等）	703	41	10	6	760
	92.5%	5.4%	1.3%	0.8%	100.0%
省エネ効率が高い家電製品（トップランナー機器）	259	192	296	13	760
	34.1%	25.3%	38.9%	1.7%	100.0%
高断熱窓・内窓、外壁・屋根・天井・床用断熱材	534	172	48	6	760
	70.3%	22.6%	6.3%	0.8%	100.0%

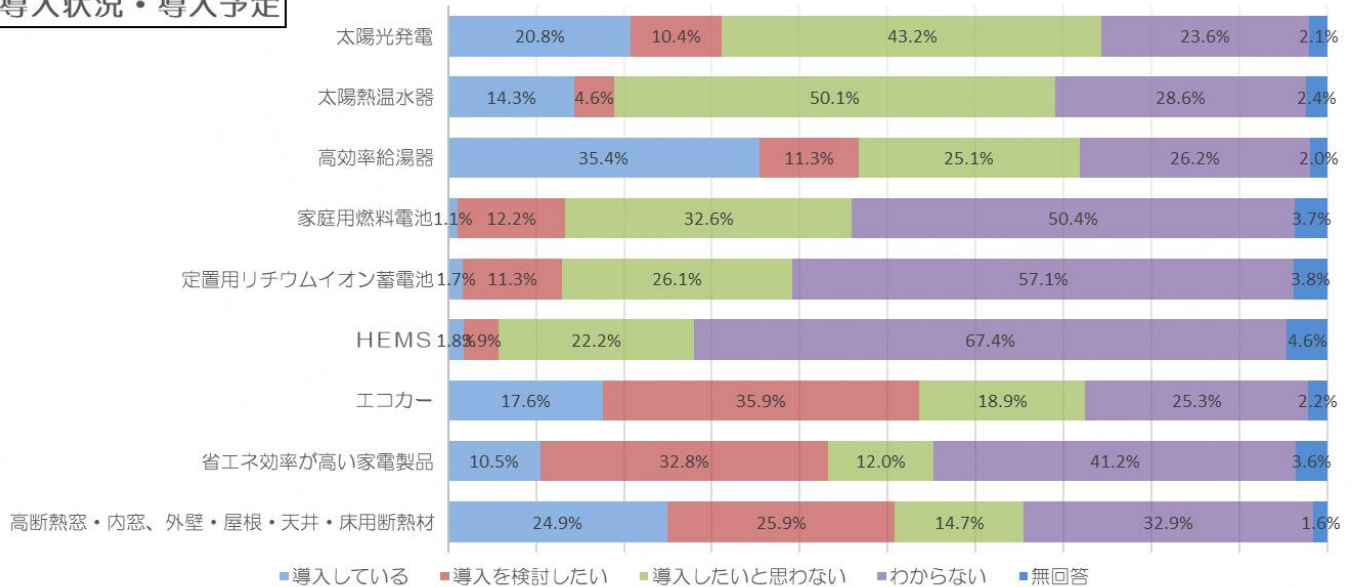
B. 設備の導入状況・導入予定について

項目	導入している	導入を検討したい	導入したいと思わない	わからない	無回答	合計
太陽光発電	158	79	328	179	16	760
	20.8%	10.4%	43.2%	23.6%	2.1%	100.0%
太陽熱温水器	109	35	381	217	18	760
	14.3%	4.6%	50.1%	28.6%	2.4%	100.0%
高効率給湯器(エコキュート、エコジョーズ、エコウィル等)	269	86	191	199	15	760
	35.4%	11.3%	25.1%	26.2%	2.0%	100.0%
家庭用燃料電池(エネファーム)	8	93	248	383	28	760
	1.1%	12.2%	32.6%	50.4%	3.7%	100.0%
定置用リチウムイオン蓄電池	13	86	198	434	29	760
	1.7%	11.3%	26.1%	57.1%	3.8%	100.0%
HEMS(ホームエネルギー管理システム)	14	30	169	512	35	760
	1.8%	3.9%	22.2%	67.4%	4.6%	100.0%
エコカー(ハイブリッド、電気自動車等)	134	273	144	192	17	760
	17.6%	35.9%	18.9%	25.3%	2.2%	100.0%
省エネ効率が高い家電製品(トップランナー機器)	80	249	91	313	27	760
	10.5%	32.8%	12.0%	41.2%	3.6%	100.0%
高断熱窓・内窓、外壁・屋根・天井・床用断熱材	189	197	112	250	12	760
	24.9%	25.9%	14.7%	32.9%	1.6%	100.0%

設備の認知度



導入状況・導入予定



- ・ 省エネ機器の認知度については、「家庭用燃料電池」「定置用リチウムイオン蓄電池」「HEMS」「省エネ効率が高い家電製品（トップランナー機器）」について、【知っている】と回答した人が半数を下回っている。特に「HEMS」については【知らなかった】が全体の7割近くを占めている。
- ・ その他の機器については【知っている】の割合が概ね過半数以上を占めており、「太陽光発電」「エコカー」の認知度については9割以上と特に高くなっている。
- ・ 一方で、導入状況・予定については【わからない】【導入したいと思わない】という消極的な回答が過半数を占めている項目が多く、最も【導入している】の割合が高かった項目でも「高効率給湯器」の35.4%であった。
- ・ 「エコカー」「省エネ効率が高い家電製品（トップランナー機器）」「高断熱窓・内窓・外壁・屋根・天井・床用断熱材」の3項目については、【導入を検討したい】の割合が比較的高い項目となっているため、「COOL CHOICE」や「うちエコ診断」と関連付けて啓発を行うことが効果的と考えられる。

3. 環境の現況評価について

【問 14】あなたは、菊川市の現在の環境についてのどのように評価されていますか。下記の項目について、「現在の満足度」をA欄の番号の中から、「今後の重要度」をB欄の番号の中から、当てはまるものをそれぞれ1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

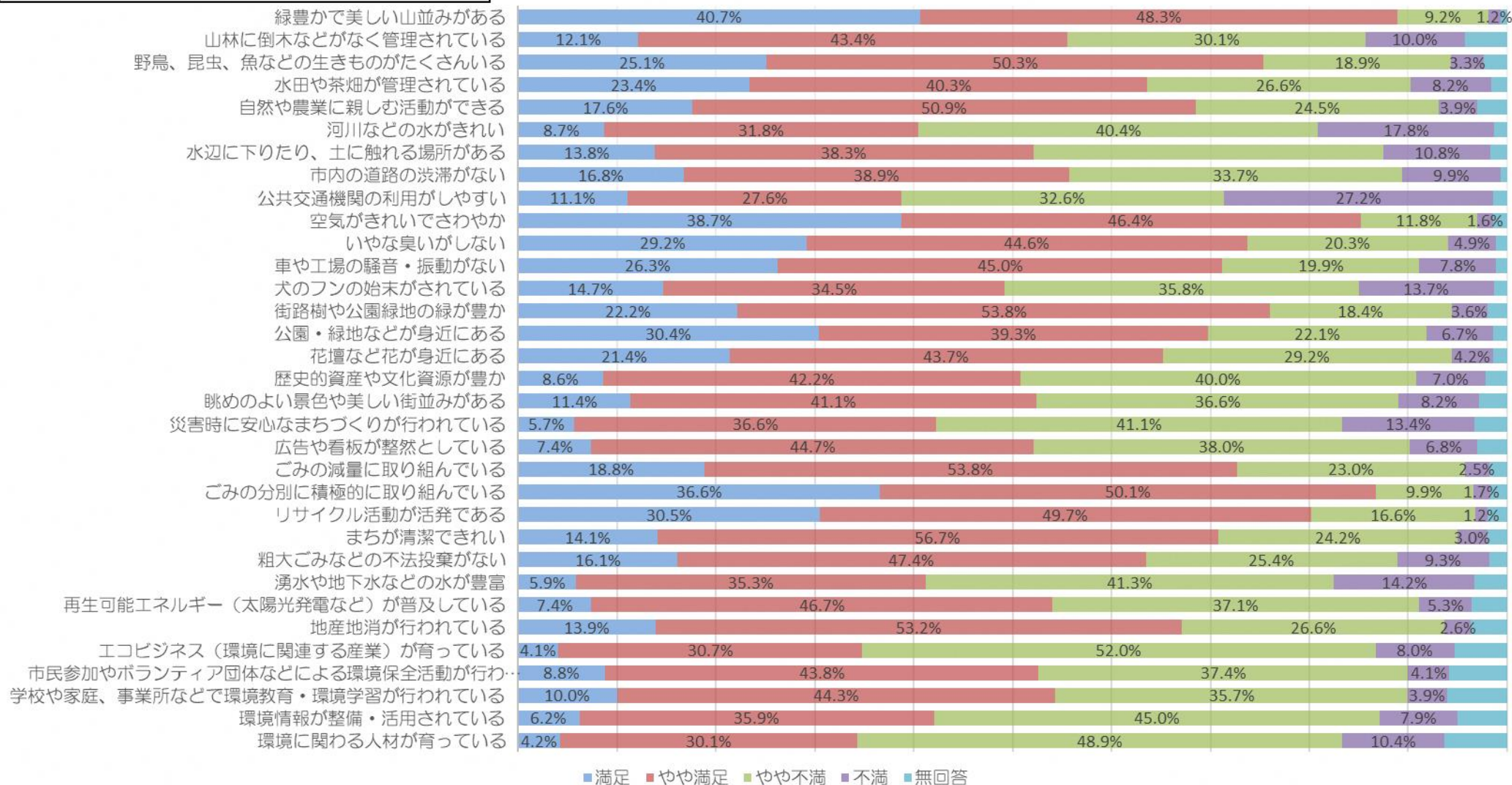
A. 現在の満足度						
項目	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	合計
緑豊かで美しい山並みがある	309	367	70	9	5	760
	40.7%	48.3%	9.2%	1.2%	0.7%	100.0%
山林に倒木などがなく管理されている	92	330	229	76	33	760
	12.1%	43.4%	30.1%	10.0%	4.3%	100.0%
野鳥、昆虫、魚などの生きものがたくさんいる	191	382	144	25	18	760
	25.1%	50.3%	18.9%	3.3%	2.4%	100.0%
水田や茶畑が管理されている	178	306	202	62	12	760
	23.4%	40.3%	26.6%	8.2%	1.6%	100.0%
自然や農業に親しむ活動ができる	134	387	186	30	23	760
	17.6%	50.9%	24.5%	3.9%	3.0%	100.0%
河川などの水がきれい	66	242	307	135	10	760
	8.7%	31.8%	40.4%	17.8%	1.3%	100.0%
水辺に下りたり、土に触れる場所がある	105	291	269	82	13	760
	13.8%	38.3%	35.4%	10.8%	1.7%	100.0%
市内の道路の渋滞がない	128	296	256	75	5	760
	16.8%	38.9%	33.7%	9.9%	0.7%	100.0%
公共交通機関の利用がしやすい	84	210	248	207	11	760
	11.1%	27.6%	32.6%	27.2%	1.4%	100.0%
空気がきれいでさわやか	294	353	90	12	11	760
	38.7%	46.4%	11.8%	1.6%	1.4%	100.0%
いやな臭いがしない	222	339	154	37	8	760
	29.2%	44.6%	20.3%	4.9%	1.1%	100.0%
車や工場の騒音・振動がない	200	342	151	59	8	760
	26.3%	45.0%	19.9%	7.8%	1.1%	100.0%
犬のフンの始末がされている	112	262	272	104	10	760
	14.7%	34.5%	35.8%	13.7%	1.3%	100.0%
街路樹や公園緑地の緑が豊か	169	409	140	27	15	760
	22.2%	53.8%	18.4%	3.6%	2.0%	100.0%
公園・緑地などが身近にある	231	299	168	51	11	760
	30.4%	39.3%	22.1%	6.7%	1.4%	100.0%
花壇など花が身近にある	163	332	222	32	11	760
	21.4%	43.7%	29.2%	4.2%	1.4%	100.0%

項目	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	合計
歴史的資産や文化資源が豊か	65	321	304	53	17	760
	8.6%	42.2%	40.0%	7.0%	2.2%	100.0%
眺めのよい景色や美しい街並みがある	87	312	278	62	21	760
	11.4%	41.1%	36.6%	8.2%	2.8%	100.0%
災害時に安心なまちづくりが行われている	43	278	312	102	25	760
	5.7%	36.6%	41.1%	13.4%	3.3%	100.0%
広告や看板が整然としている	56	340	289	52	23	760
	7.4%	44.7%	38.0%	6.8%	3.0%	100.0%
ごみの減量に取り組んでいる	143	409	175	19	14	760
	18.8%	53.8%	23.0%	2.5%	1.8%	100.0%
ごみの分別に積極的に取り組んでいる	278	381	75	13	13	760
	36.6%	50.1%	9.9%	1.7%	1.7%	100.0%
リサイクル活動が活発である	232	378	126	9	15	760
	30.5%	49.7%	16.6%	1.2%	2.0%	100.0%
まちが清潔できれい	107	431	184	23	15	760
	14.1%	56.7%	24.2%	3.0%	2.0%	100.0%
粗大ごみなどの不法投棄がない	122	360	193	71	14	760
	16.1%	47.4%	25.4%	9.3%	1.8%	100.0%
湧水や地下水などの水が豊富	45	268	314	108	25	760
	5.9%	35.3%	41.3%	14.2%	3.3%	100.0%
再生可能エネルギー（太陽光発電など）が普及している	56	355	282	40	27	760
	7.4%	46.7%	37.1%	5.3%	3.6%	100.0%
地産地消が行われている	106	404	202	20	28	760
	13.9%	53.2%	26.6%	2.6%	3.7%	100.0%
エコビジネス（環境に関連する産業）が育っている	31	233	395	61	40	760
	4.1%	30.7%	52.0%	8.0%	5.3%	100.0%
市民参加やボランティア団体などによる環境保全活動が行われている	67	333	284	31	45	760
	8.8%	43.8%	37.4%	4.1%	5.9%	100.0%
学校や家庭、事業所などで環境教育・環境学習が行われている	76	337	271	30	46	760
	10.0%	44.3%	35.7%	3.9%	6.1%	100.0%
環境情報が整備・活用されている	47	273	342	60	38	760
	6.2%	35.9%	45.0%	7.9%	5.0%	100.0%
環境に関わる人材が育っている	32	229	372	79	48	760
	4.2%	30.1%	48.9%	10.4%	6.3%	100.0%

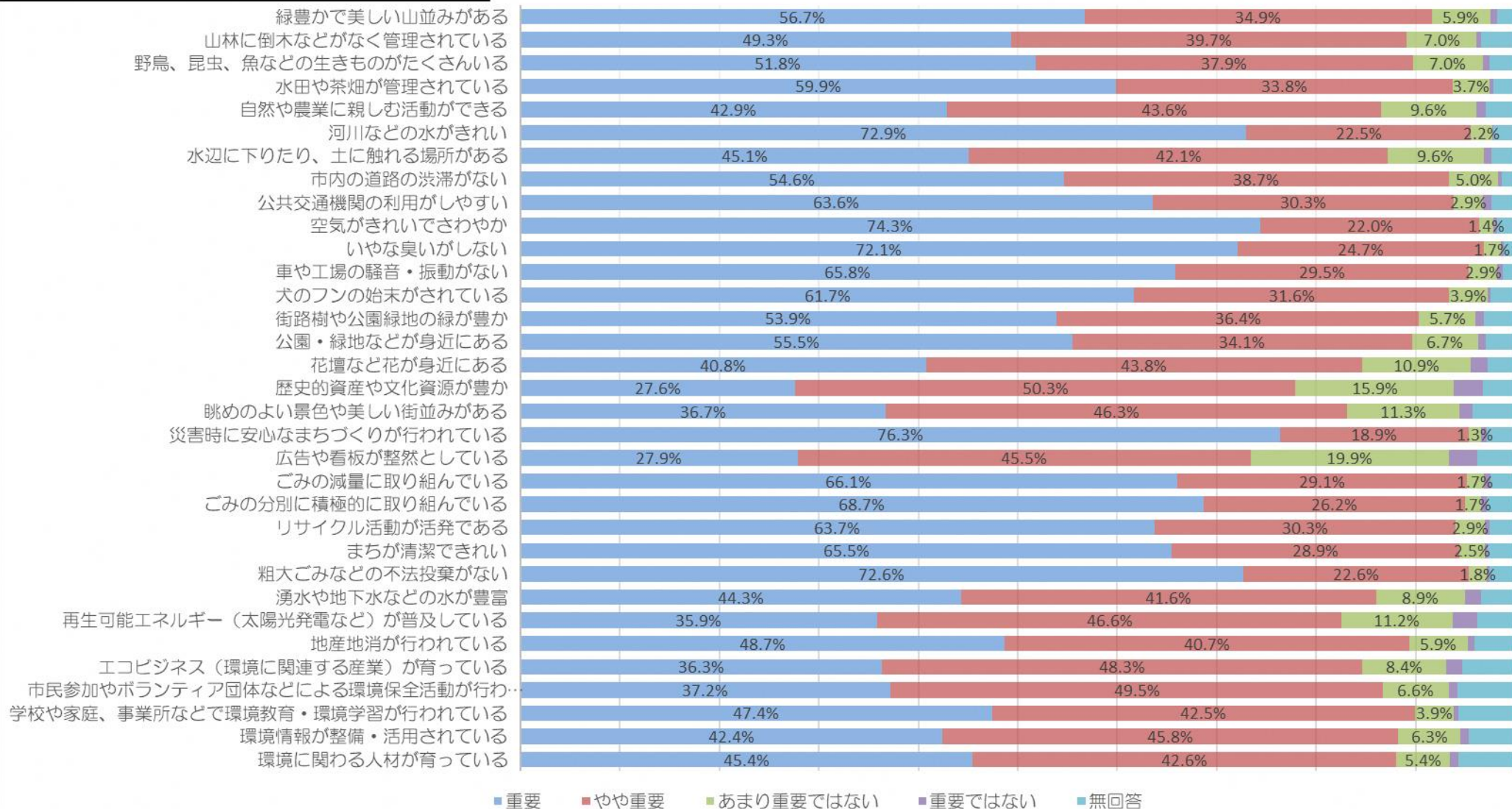
B. 今後の重要度						
項目	重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	無回答	合計
緑豊かで美しい山並みがある	431	265	45	5	14	760
	56.7%	34.9%	5.9%	0.7%	1.8%	100.0%
山林に倒木などがなく管理されている	375	302	53	4	26	760
	49.3%	39.7%	7.0%	0.5%	3.4%	100.0%
野鳥、昆虫、魚などの生きものがたくさんいる	394	288	53	5	20	760
	51.8%	37.9%	7.0%	0.7%	2.6%	100.0%
水田や茶畑が管理されている	455	257	28	3	17	760
	59.9%	33.8%	3.7%	0.4%	2.2%	100.0%
自然や農業に親しむ活動ができる	326	331	73	7	23	760
	42.9%	43.6%	9.6%	0.9%	3.0%	100.0%
河川などの水がきれい	554	171	17	1	17	760
	72.9%	22.5%	2.2%	0.1%	2.2%	100.0%
水辺に下りたり、土に触れる場所がある	343	320	73	6	18	760
	45.1%	42.1%	9.6%	0.8%	2.4%	100.0%
市内の道路の渋滞がない	415	294	38	2	11	760
	54.6%	38.7%	5.0%	0.3%	1.4%	100.0%
公共交通機関の利用がしやすい	483	230	22	7	18	760
	63.6%	30.3%	2.9%	0.9%	2.4%	100.0%
空気がきれいでさわやか	565	167	11	3	14	760
	74.3%	22.0%	1.4%	0.4%	1.8%	100.0%
いやな臭いがしない	548	188	13	2	9	760
	72.1%	24.7%	1.7%	0.3%	1.2%	100.0%
車や工場の騒音・振動がない	500	224	22	4	10	760
	65.8%	29.5%	2.9%	0.5%	1.3%	100.0%
犬のフンの始末がされている	469	240	30	2	19	760
	61.7%	31.6%	3.9%	0.3%	2.5%	100.0%
街路樹や公園緑地の緑が豊か	410	277	43	6	24	760
	53.9%	36.4%	5.7%	0.8%	3.2%	100.0%
公園・緑地などが身近にある	422	259	51	5	23	760
	55.5%	34.1%	6.7%	0.7%	3.0%	100.0%
花壇など花が身近にある	310	333	83	13	21	760
	40.8%	43.8%	10.9%	1.7%	2.8%	100.0%
歴史的資産や文化資源が豊か	210	382	121	22	25	760
	27.6%	50.3%	15.9%	2.9%	3.3%	100.0%
眺めのよい景色や美しい街並みがある	279	352	86	10	33	760
	36.7%	46.3%	11.3%	1.3%	4.3%	100.0%
災害時に安心なまちづくりが行われている	580	144	10	4	22	760
	76.3%	18.9%	1.3%	0.5%	2.9%	100.0%

項目	重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	無回答	合計
広告や看板が整然としている	212	346	151	22	29	760
	27.9%	45.5%	19.9%	2.9%	3.8%	100.0%
ごみの減量に取り組んでいる	502	221	13	5	19	760
	66.1%	29.1%	1.7%	0.7%	2.5%	100.0%
ごみの分別に積極的に取り組んでいる	522	199	13	4	22	760
	68.7%	26.2%	1.7%	0.5%	2.9%	100.0%
リサイクル活動が活発である	484	230	22	4	20	760
	63.7%	30.3%	2.9%	0.5%	2.6%	100.0%
まちが清潔できれい	498	220	19	2	21	760
	65.5%	28.9%	2.5%	0.3%	2.8%	100.0%
粗大ごみなどの不法投棄がない	552	172	14	2	20	760
	72.6%	22.6%	1.8%	0.3%	2.6%	100.0%
湧水や地下水などの水が豊富	337	316	68	13	26	760
	44.3%	41.6%	8.9%	1.7%	3.4%	100.0%
再生可能エネルギー（太陽光発電など）が普及している	273	354	85	19	29	760
	35.9%	46.6%	11.2%	2.5%	3.8%	100.0%
地産地消が行われている	370	309	45	5	31	760
	48.7%	40.7%	5.9%	0.7%	4.1%	100.0%
エコビジネス（環境に関連する産業）が育っている	276	367	64	13	40	760
	36.3%	48.3%	8.4%	1.7%	5.3%	100.0%
市民参加やボランティア団体などによる環境保全活動が行われている	283	376	50	7	44	760
	37.2%	49.5%	6.6%	0.9%	5.8%	100.0%
学校や家庭、事業所などで環境教育・環境学習が行われている	360	323	30	4	43	760
	47.4%	42.5%	3.9%	0.5%	5.7%	100.0%
環境情報が整備・活用されている	322	348	48	6	36	760
	42.4%	45.8%	6.3%	0.8%	4.7%	100.0%
環境に関わる人材が育っている	345	324	41	7	43	760
	45.4%	42.6%	5.4%	0.9%	5.7%	100.0%

環境の現況評価 A【現在の満足度】



環境の現況評価 B【今後の重要度】



4. 家庭での環境保全への取組状況について

【問 15】あなたが家庭で取り組んでいる環境保全に関する項目について、当てはまるものをそれぞれ1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

項目	いつも行っている	時々行っている	今後は行いたい	今は行っていないが、 今後は行かない	今後も行うつもりはない	無回答	合計
油や食べ残しを排水として流さないようにしている	587	128	23	5	17	760	
	77.2%	16.8%	3.0%	0.7%	2.2%	100.0%	
自動車やバイクを使用する際には、エコドライブ (不要なアイドリング、急発進をしない等)を心掛けている	514	177	33	10	26	760	
	67.6%	23.3%	4.3%	1.3%	3.4%	100.0%	
近所に出かける時は、自動車やバイクを使わず、公共交通機関や自転車を利用したり、歩いていくようにしている	150	313	181	98	18	760	
	19.7%	41.2%	23.8%	12.9%	2.4%	100.0%	
低燃費の車や排気ガスの少ない車(ハイブリッドカー等)を購入している	208	53	390	83	26	760	
	27.4%	7.0%	51.3%	10.9%	3.4%	100.0%	
騒音・振動を出さないように心掛けている	518	177	41	3	21	760	
	68.2%	23.3%	5.4%	0.4%	2.8%	100.0%	
フンの始末などペットの飼育に関するマナーを守っている	501	56	30	13	160	760	
	65.9%	7.4%	3.9%	1.7%	21.1%	100.0%	
家庭で花や植物を育てている	495	130	77	39	19	760	
	65.1%	17.1%	10.1%	5.1%	2.5%	100.0%	
冷暖房の設定温度に配慮したり、照明や家電製品の電源をこまめに消すなど節電を心掛けている	481	215	36	10	18	760	
	63.3%	28.3%	4.7%	1.3%	2.4%	100.0%	
省エネルギー型の家電製品を優先して購入している	323	235	176	11	15	760	
	42.5%	30.9%	23.2%	1.4%	2.0%	100.0%	
二重サッシや断熱改修、LEDの導入などの省エネ住宅化を行っている	263	189	240	48	20	760	
	34.6%	24.9%	31.6%	6.3%	2.6%	100.0%	
地元産の農作物などを積極的に購入している	282	344	103	14	17	760	
	37.1%	45.3%	13.6%	1.8%	2.2%	100.0%	
バザーへ不用品を提供している	113	273	258	97	19	760	
	14.9%	35.9%	33.9%	12.8%	2.5%	100.0%	
ごみのポイ捨てをしない、出かけたときはごみを持ち帰るよう心掛けている	617	107	19	2	15	760	
	81.2%	14.1%	2.5%	0.3%	2.0%	100.0%	
ごみの分別を市のルールに従って行っている	715	28	0	2	15	760	
	94.1%	3.7%	0.0%	0.3%	2.0%	100.0%	

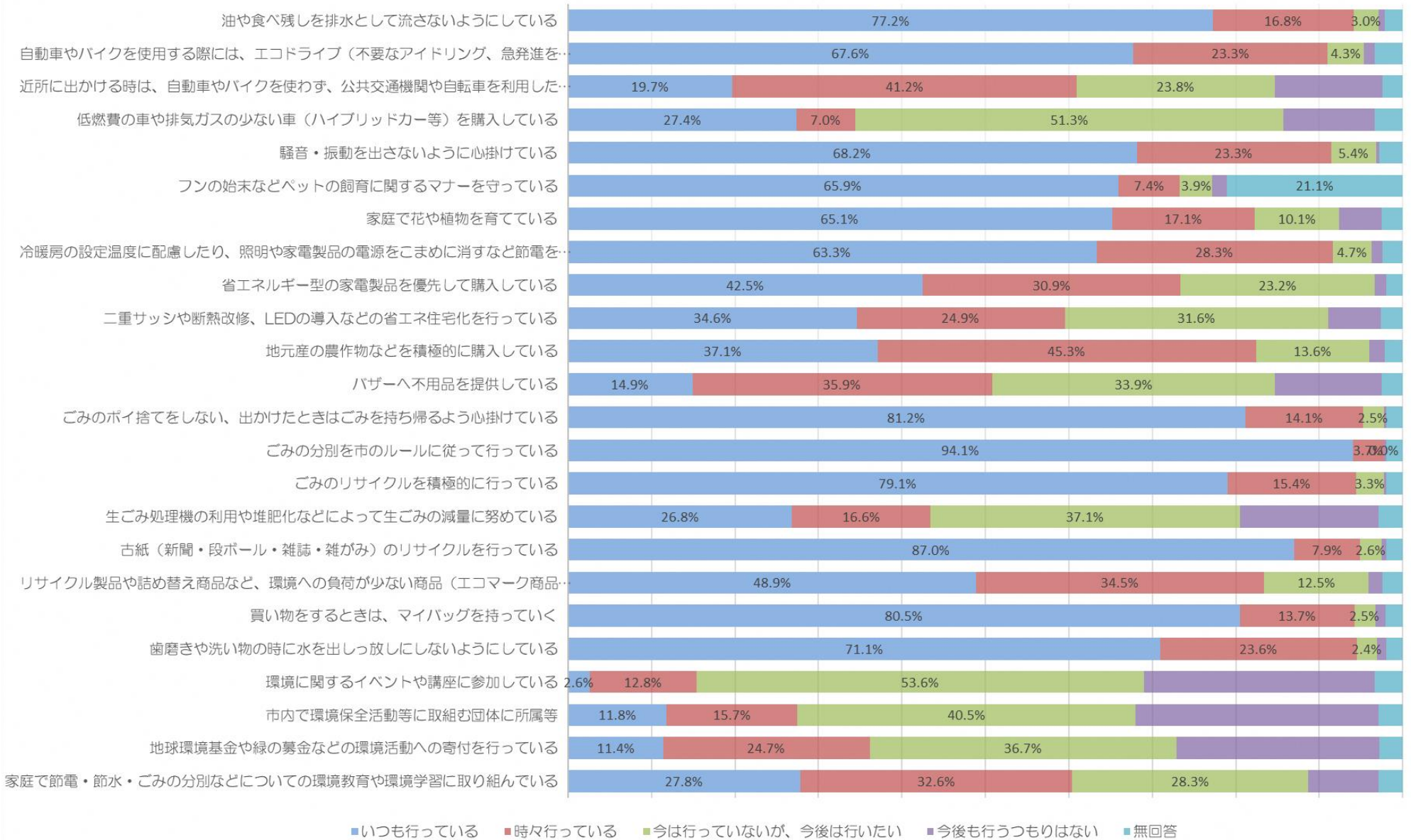
項目	いつも行っている	時々行っている	今は行っていないが、 今後は行いたい	今は行っていないが、 今後も行うつもりは ない	無回答	合計
ごみのリサイクルを積極的に行っている	601 79.1%	117 15.4%	25 3.3%	2 0.3%	15 2.0%	760 100.0%
生ごみ処理機の利用や堆肥化などによって生ごみの減量に努めている	204 26.8%	126 16.6%	282 37.1%	126 16.6%	22 2.9%	760 100.0%
古紙（新聞・段ボール・雑誌・雑がみ）のリサイクルを行っている	661 87.0%	60 7.9%	20 2.6%	4 0.5%	15 2.0%	760 100.0%
リサイクル製品や詰め替え商品など、環境への負荷が少ない商品（エコマーク商品等）を優先的に購入している	372 48.9%	262 34.5%	95 12.5%	13 1.7%	18 2.4%	760 100.0%
買い物をするときは、マイバッグを持っていく	612 80.5%	104 13.7%	19 2.5%	9 1.2%	16 2.1%	760 100.0%
歯磨きや洗い物の時に水を出しっ放しにしないようにしている	540 71.1%	179 23.6%	18 2.4%	8 1.1%	15 2.0%	760 100.0%
環境に関するイベントや講座に参加している	20 2.6%	97 12.8%	407 53.6%	210 27.6%	26 3.4%	760 100.0%
市内で環境保全活動等に取り組む団体に所属し、環境保全活動（地域で行う一斉清掃など）に参加したり、寄付などの支援を行っている。	90 11.8%	119 15.7%	308 40.5%	221 29.1%	22 2.9%	760 100.0%
地球環境基金や緑の募金などの環境活動への寄付を行っている	87 11.4%	188 24.7%	279 36.7%	185 24.3%	21 2.8%	760 100.0%
家庭で節電・節水・ごみの分別などについての環境教育や環境学習に取り組んでいる	211 27.8%	248 32.6%	215 28.3%	64 8.4%	22 2.9%	760 100.0%

- ・ 全般的に【いつも行っている】【時々行っている】の割合で過半数を占める項目がほとんどであり、市民の環境保全活動への意識の高さが伺える。
- ・ 一方で、【今は行っていないが、今後は行いたい】【今後も行うつもりはない】が過半数を占める項目については以下の通りである。

- ・ 「低燃費の車や排気ガスの少ない車（ハイブリッドカー等）を購入している」
- ・ 「生ごみ処理機の利用や堆肥化などによって生ごみの減量に努めている」
- ・ 「環境に関するイベントや講座に参加している」
- ・ 「市内で環境保全活動等に取り組む団体に所属し、環境保全活動（地域で行う一斉清掃など）に参加したり、寄付などの支援を行っている」
- ・ 「地球環境基金や緑の募金などの環境活動への寄付を行っている」

新規設備の導入や活動の場の提供などを必要とする項目が多く、これらの行動に対する情報提供や支援が今後の課題として挙げられる。

家庭での環境保全の取組状況

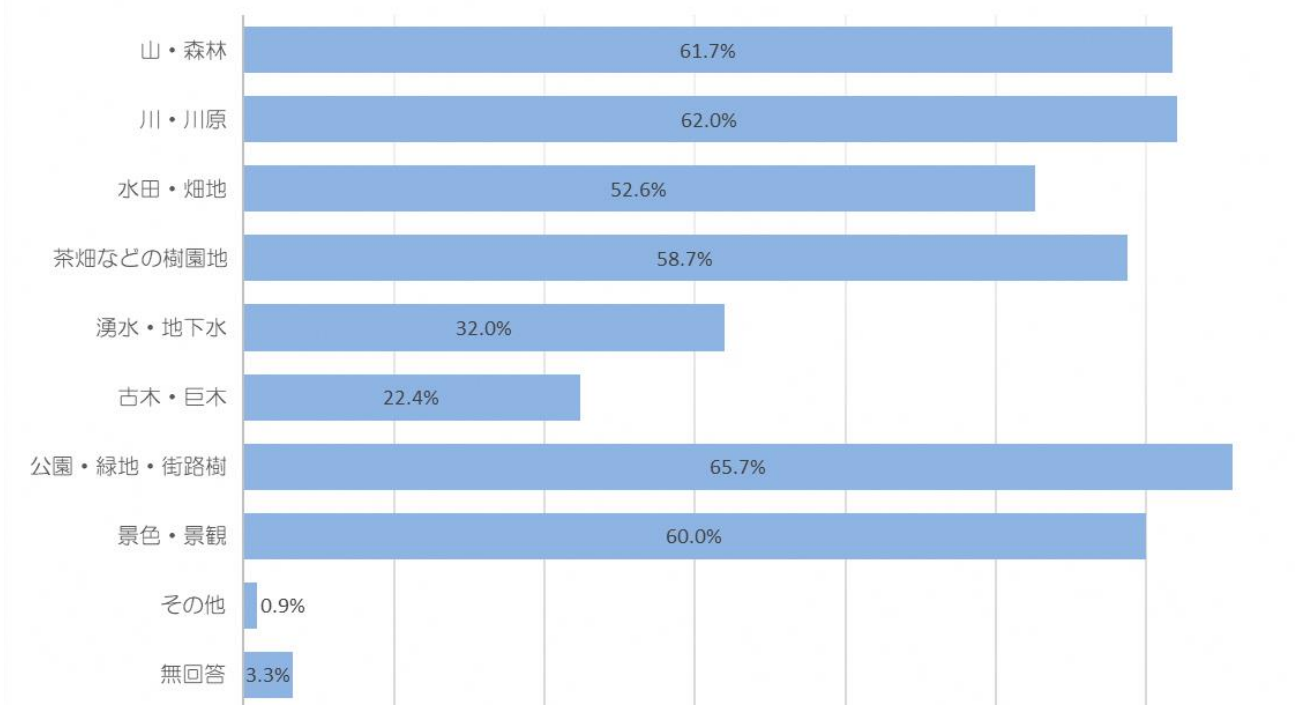


5. 地域環境について

【問 16】あなたが将来に向けて特に残していきたいと思う菊川市の環境や場所について、当てはまるものをいくつでも選んで番号に○印をつけてください。

残したい環境		
項目	回答数	選択率 (%)
山・森林	469/760	61.7%
川・川原	471/760	62.0%
水田・畑地	400/760	52.6%
茶畑などの樹園地	446/760	58.7%
湧水・地下水	243/760	32.0%
古木・巨木	170/760	22.4%
公園・緑地・街路樹	499/760	65.7%
景色・景観	456/760	60.0%
その他	7/760	0.9%
無回答	25/760	3.3%

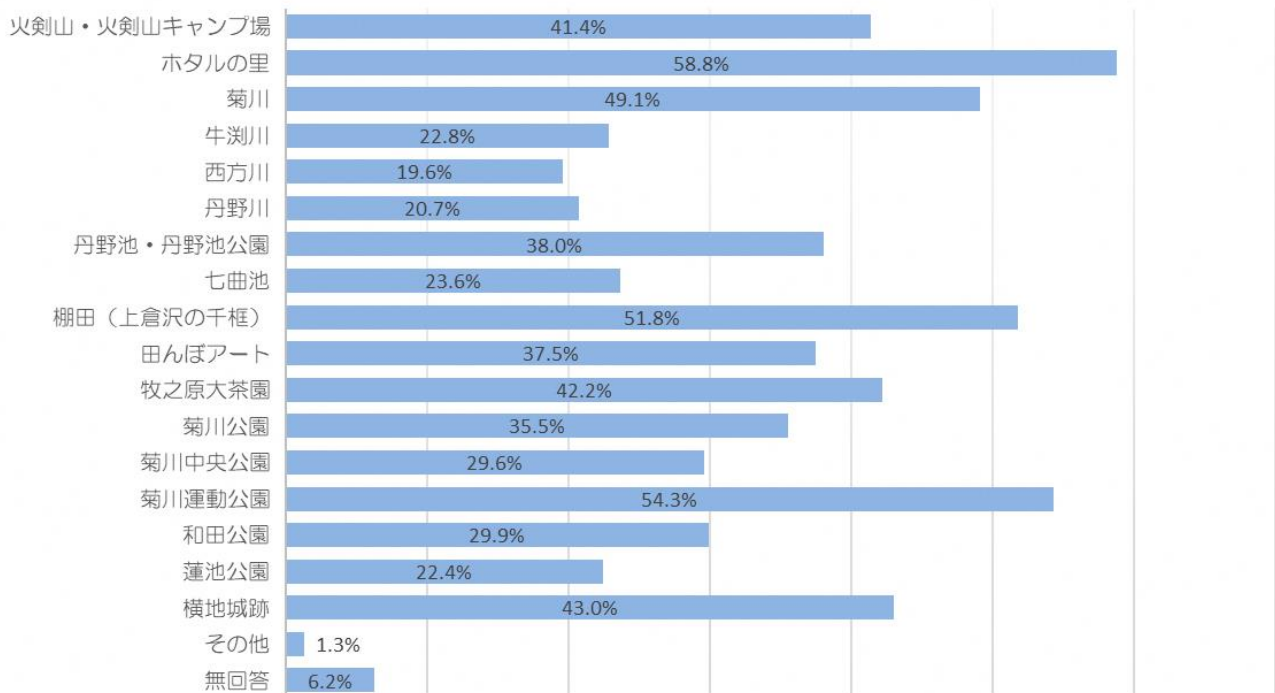
残したい環境



- ・ 特に選択率が高かった項目については、【公園・緑地・街路樹】、【川・川原】、【山・森林】、【景色・景観】の4つであり、いずれも選択率が60%を超えている。
- ・ 【湧水・地下水】、【古木・巨木】については選択率が低い結果となった。

残したい場所		
項目	回答数	選択率 (%)
火剣山・火剣山キャンプ場	315/760	41.4%
ホテルの里	447/760	58.8%
菊川	373/760	49.1%
牛湫川	173/760	22.8%
西方川	149/760	19.6%
丹野川	157/760	20.7%
丹野池・丹野池公園	289/760	38.0%
七曲池	179/760	23.6%
棚田（上倉沢の千榎）	394/760	51.8%
田んぼアート	285/760	37.5%
牧之原大茶園	321/760	42.2%
菊川公園	270/760	35.5%
菊川中央公園	225/760	29.6%
菊川運動公園	413/760	54.3%
和田公園	227/760	29.9%
蓮池公園	170/760	22.4%
横地城跡	327/760	43.0%
その他	10/760	1.3%
無回答	47/760	6.2%

残したい場所

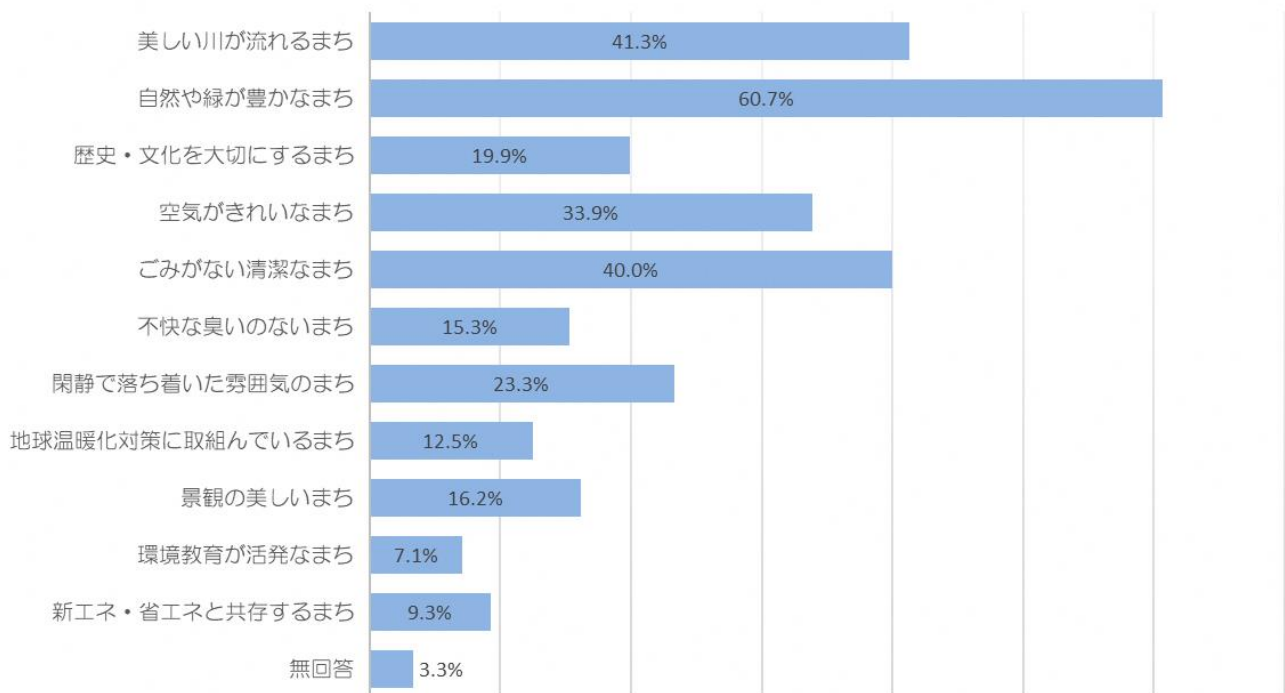


- ・ 選択率が50%を超えている地点については【ホテルの里】、【菊川運動公園】、【棚田（上倉沢の千榎）】の3地点である。一方で選択率の低かった地点は【蓮池公園】、【丹野川】、【西方川】であった。

【問 17】あなたが今後菊川市に望む将来の環境像について、当てはまるものを3つまで選んで番号に○印をつけてください。

項目	回答数	選択率 (%)
美しい川が流れるまち	314/760	41.3%
自然や緑が豊かなまち	461/760	60.7%
歴史・文化を大切にするまち	151/760	19.9%
空気がきれいなまち	258/760	33.9%
ごみがない清潔なまち	304/760	40.0%
不快な臭いのないまち	116/760	15.3%
閑静で落ち着いた雰囲気のみち	177/760	23.3%
地球温暖化対策に取り組んでいるまち	95/760	12.5%
景観の美しいまち	123/760	16.2%
環境教育が活発なまち	54/760	7.1%
新エネ・省エネと共存するまち	71/760	9.3%
無回答	25/760	3.3%

将来の環境像

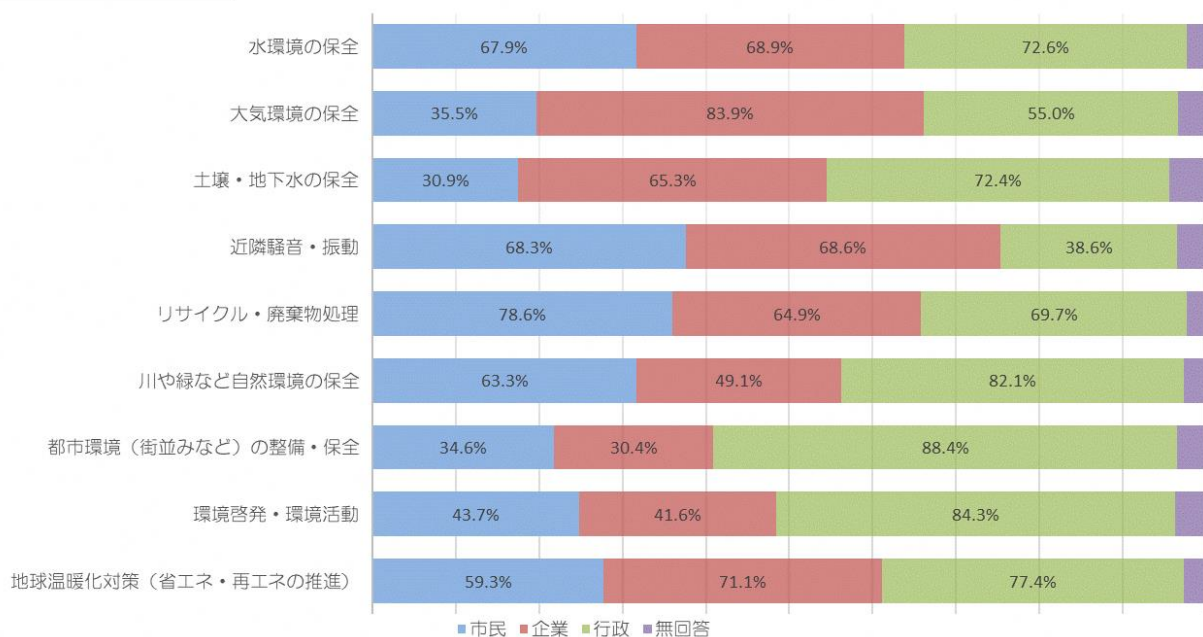


- ・ 【自然や緑が豊かなまち】を選択する市民の割合が最も多かった。次点で【美しい川が流れるまち】【ごみがない清潔なまち】が4割近くを占める結果となり、自然環境に重視を置いている市民が多いことが分かる結果となった
- ・ 一方で【新エネ・省エネと共存するまち】【環境教育が活発なまち】は選択率が低い結果となった。

【問 18】環境問題を解決するためには、次の各主体のうち誰の責任や努力が必要だと思いますか。あなたの考えに当てはまるものをいくつでも選んで番号に○印をつけてください。

項目	市民	企業	行政	無回答
水環境の保全	516/760	524/760	552/760	39
	67.9%	68.9%	72.6%	5.1%
大気環境の保全	270/760	638/760	418/760	46
	35.5%	83.9%	55.0%	6.1%
土壌・地下水の保全	235/760	496/760	550/760	60
	30.9%	65.3%	72.4%	7.9%
近隣騒音・振動	519/760	521/760	293/760	48
	68.3%	68.6%	38.6%	6.3%
リサイクル・廃棄物処理	597/760	493/760	530/760	38
	78.6%	64.9%	69.7%	5.0%
川や緑など自然環境の保全	481/760	373/760	624/760	40
	63.3%	49.1%	82.1%	5.3%
都市環境（街並みなど）の整備・保全	263/760	231/760	672/760	42
	34.6%	30.4%	88.4%	5.5%
環境啓発・環境活動	332/760	316/760	641/760	50
	43.7%	41.6%	84.3%	6.6%
地球温暖化対策（省エネ・再エネの推進）	451/760	540/760	588/760	43
	59.3%	71.1%	77.4%	5.7%

問題解決の行動主体



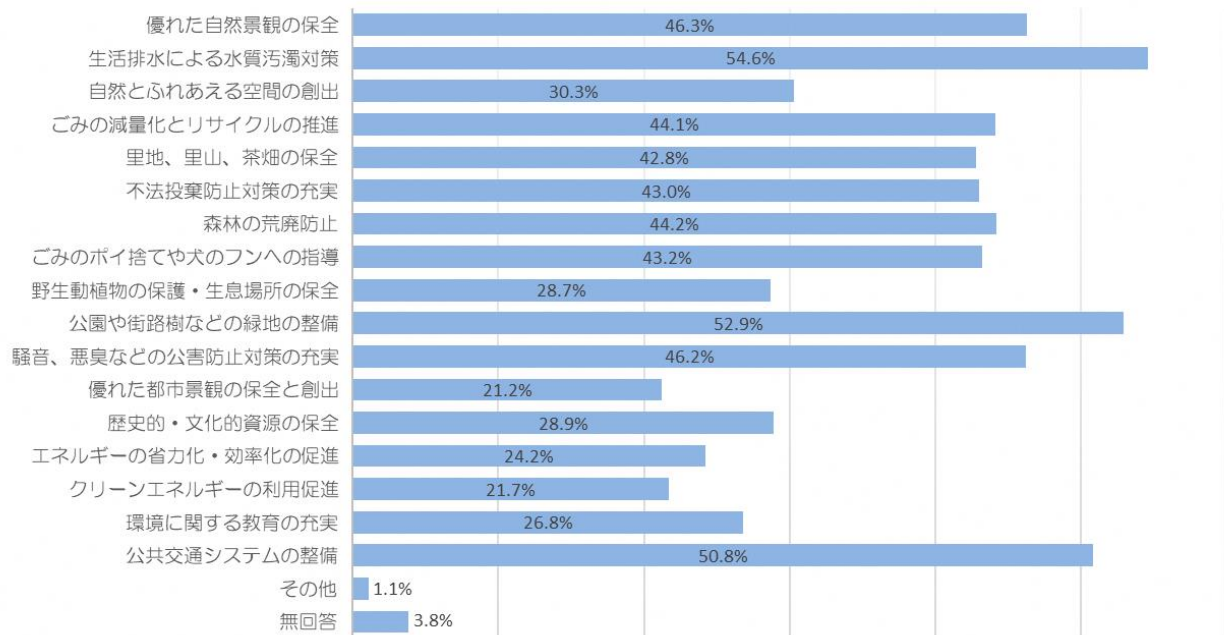
- ・ 各行動主体において選択率が 60%以上であった項目をそれぞれ抜粋した。また、特に選択率が高かった項目については枠付きの赤字で表記した。
- ・ 【リサイクル・廃棄物処理】【水環境の保全】については、3主体全ての責任・努力が必要であるとの認識が高い結果となっている。

市民	企業	行政
<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣騒音・振動 ・ リサイクル・廃棄物処理 ・ 水環境の保全 ・ 川や緑など自然環境の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大気環境の保全 ・ リサイクル・廃棄物処理 ・ 水環境の保全 ・ 土壌・地下水の保全 ・ 近隣騒音・振動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水環境の保全 ・ 土壌・地下水の保全 ・ 川や緑など自然環境の保全 ・ 都市環境（街並みなど）の整備・保全 ・ 環境啓発・環境活動 ・ 地球温暖化対策（省エネ・再エネの推進） ・ リサイクル・廃棄物処理

【問 19】あなたが行政に期待する環境施策について、当てはまるものをいくつでも選んで番号に○印をつけてください。

項目	回答数	選択率 (%)
優れた自然景観の保全	352/760	46.3%
生活排水による水質汚濁対策	415/760	54.6%
自然とふれあえる空間の創出	230/760	30.3%
ごみの減量化とリサイクルの推進	335/760	44.1%
里地、里山、茶畑の保全	325/760	42.8%
不法投棄防止対策の充実	327/760	43.0%
森林の荒廃防止	336/760	44.2%
ごみのポイ捨てや犬のフンへの指導	328/760	43.2%
野生動植物の保護・生息場所の保全	218/760	28.7%
公園や街路樹などの緑地の整備	402/760	52.9%
騒音、悪臭などの公害防止対策の充実	351/760	46.2%
優れた都市景観の保全と創出	161/760	21.2%
歴史的・文化的資源の保全	220/760	28.9%
エネルギーの省力化・効率化の促進	184/760	24.2%
クリーンエネルギーの利用促進	165/760	21.7%
環境に関する教育の充実	204/760	26.8%
公共交通システムの整備	386/760	50.8%
その他	8/760	1.1%
無回答	29/760	3.8%

行政に期待する環境施策



- 行政に期待する環境施策として選択率が高かったのは【生活排水による水質汚濁対策】【公園や街路樹などの緑地の整備】【公共交通システムの整備】の3項目である。
- 一方で選択率が低い項目は【エネルギーの省力化・効率化の促進】【クリーンエネルギーの利用促進】【優れた都市景観の保全と創出】である。このことから、「将来の環境像」と同様に、河川の水環境や自然環境を重視すると同時に、新エネルギー等の導入については保守的であることが伺える結果となった。

6. 自由意見

【問 20】 菊川市の環境行政や、環境基本計画の策定に向けてあなたのご意見を自由にご記入ください。

- ・ 以下に自由意見の一例を抜粋する。

<自然環境>

- ・ 魚や鳥がたくさんいる菊川をもっときれいにしたいと思います。今後温暖化に伴い局地的豪雨が予想されます。そのような事態にも対応しうる河川改修を望みます。
- ・ 菊川市が目指す環境の中で、自然を守り育てる町とありますが、全国的にはそうですが、森林、里山等の保全ができていないと感じます。大変な事業ですが、自然環境の保全の推進をお願いします。
- ・ 先日、家の前の用水路にカワセミがいるのを見つけました。きれいな川のところにいる鳥だと聞いています。そのような生き物が住みやすい環境を作っていけたらと思います。
- ・ 菊川の川はとても汚いです。生物は多く見られるので安心してはいますが、もっと川やその周辺の整備に力を入れてもよいのではないのでしょうか。せっかく川があり、堤防も整備されているのに草はおいしげっていて残念に思います。茶畑、川、山、自然がとても豊かでとても良いのですが、中心部だけでももっと住む人のための環境が整っていればと思います。
- ・ 自然豊かで緑の多い空気のきれいな街は維持しつつ、市の財力を上げるための都市化も必要。菊川駅を近代的な構造にし、交通機関の充実を図ってほしい。

<生活環境>

- ・ 駅の北口を作ると人の流れは全然違うものになると思います。新しい人が増えて新しい店が増えて、それと同時に自然も残して新しいエネルギーも取り入れてもらったら最高です。LEDを使った外灯など増やしてほしいと思います。まだ下水道でない家もたくさんあると思います。いろいろ意見はあるのですが、やっぱり下水道をつなぐことは悪臭をなくすことにつながると思います。
- ・ 環境とは少し違いますが、市役所、図書館、体育館のところの駐車場の1台1台の車を止めるスペースを広くしてほしいです。隣の車との間がとても狭く、車の出入りが大変です。特に雨の日、子どもを連れて行くととても苦労します。
- ・ 子どもがボールを使って遊ぶことのできるような身近な公園が町部地区では少なくなってしまったと感じています。室内で遊ぶことや保護者が遊び場についていくことが増えている今だからこそ、自分たちで集まって自由に体を動かすことのできる公園の整備をしていただけるとありがたいです。
- ・ 野焼きを行っている人がいますが、臭くてたまらないのでなんとかしてほしいと思います。菊川は自然が多くてきれいな街だと思いますがそれが残念です。
- ・ 夏は特に雑草が生えやすくなります。誰が刈るというわけではありませんが、市全体で草刈りをしている中、JRの線路の中や、曲りどころの雑草など看板が見えない時があります。(運転中の一停カーブミラーetc) そういったとき、環境の整備の一環として、事故防止に向けて必要なのではないかと思います。また、中学生や小学生の通学路の整備も重要です。歩いていると、ゴミが落ちているのがやはり目立ちます。草の背が高くなればなるほど、草を刈るとゴミが大量に出てきます。私達の街ですので、綺麗にしたいと思いますが、もっとアンケートとかではなく、発信していてもいいのではないかと思います。このアンケートがどこまで市民の声として届くのかわかりませんが検討をお願いします。
- ・ 自然環境や環境施策クリーンエネルギー利用で環境汚染対策、次世代にきれいな地球を残していく上で

重要です。しかし公共施設（駅）などの交通機関の利用者に対しても気を配るべきです。南口しかないがために時間も距離も遠回りとなり、結果的に駅の送迎に南口にまわることしかなく非エコドライブ渋滞につながる。南口ロータリーに入りきれない車は路上に止めるしかなく危ない。環境対策も大切です。でもその前にやるべきことがあると思います。とても不便です。あと環境を整えるという意味では駅周辺は禁煙にすべきです。

- 交通量の有無に関係なく、除草作業をしてほしい。草木に覆われて歩道が歩けなくなっていたり、道路へはみ出しており危険でさある。
- 不法投棄、犬のふん等の広報を積極的にし、環境美化の強化を希望します。
- 菊川市は地域再生として子育て環境の充実かと農業をあげているためどちらにもきれいであることが最も重要になってくると思う。そのため、これからは人の目に入るところからきれいにしていきたいと思います。

<茶畑等の土地利用について>

- 荒れた茶畑が増えたように思います。お茶のまち菊川として、荒れた茶畑は残念に思います。後継者がいない畑には市として対応対策も必要ではないかと思えます。
- 担い手の不足などで水稲の休耕地が増えている。この休耕地を荒らさないように雑草除去条例？など策定したらどうか。
- 人口減少に伴う空き家増加の環境面での対策は急務。
- 茶畑と水田の荒廃防止を考えていく必要があると思う。
- 森林の荒廃や田畑の耕作放棄で野生動物が増えて困っている。
- 茶畑のあれた土地が多い。空き家が増えた。2つのことよろしく願います。
- どんな理由であれ、野焼きは禁止すべき。耕作不能になった畑をなんとか市で活用することはできないのか。
- 茶畑と水田の荒廃防止を考えていく必要があると思う。

<教育について>

- 出前講座の中に環境に関する内容がありますが、市民からの申し出がないとそれが生かされないともいえます。毎年でなくても、各自治会に、講座をひらくよう働きかけをしたらどうでしょうか。
- 子供への環境教育も大切ですが、大人特に高齢者への環境に対して認知が低い（野焼き、家庭ごみを焼くなど）ので浸透させてほしい。市主催のフリマやリサイクル品の回収、寄付品など増やしてほしい。

<その他>

- 資源ゴミとして回収されたものは、どのようなルートをたどり再生されるのか知りたい。不燃ゴミとして出るスプレー缶（スチール缶、アルミ缶）はその後どうなるのか知りたい。下水上の最終処理の残渣はどうなるのか。これらを知ることにより、意識も変わるのでは？
- 農薬による環境汚染対策は進んでいるのでしょうか？家の周りが茶畑なので農薬をまかれると匂いがしてとてもつらい。健康被害がとても心配。
- 目標とする菊川市の未来像を市民にわかりやすくしめす。何年後に何をどうしたいのか、そのために市民、企業にはどのような協力が必要か具体的に説明してほしいです。市民も自分たちが住む菊川市がよりよい環境になることを望んでいますのでみなが取り組めることを提案して行ってほしいです。よろしく願います。
- ずっと住み続けたいと思う菊川市になってほしい。自然が多く、環境がよく、そして便利な市になってほしい。

- もっと市民への呼びかけや子供や地域での活動、ゴミ箱の設置など市と共同で進める活動が大切だと思います。小学校のリサイクルも考え方を变えて、祭典前の草刈りや祭典後のごみ処理も自然体の計画にしてもらえるといいです。
- 菊川に住み始めたばかりでわからないことも多いですが、自分にできることはしているつもりです。菊川の自然を守るために、環境保全対策をしていただけることはありがたいです。どんな事を市民も協力できるのか、具体的なことをもっと知っていれば、さらに協力できるかもしれないともいました。

平成 30 年度 第 2 次菊川市環境基本計画策定に関するアンケート調査（事業所対象）
結果報告書

発送数	回答数	回収率
150	75	50%

無作為抽出により 150 通のアンケートを配布し、75 通の回答を得た。回収率は 50%である。

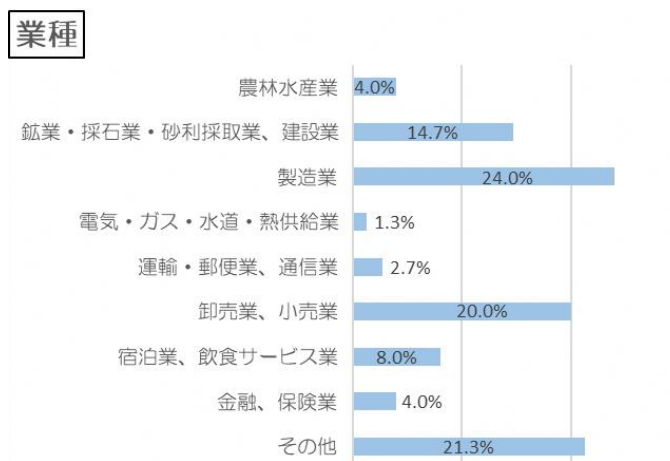
※比率（%）について

- ・ 小数点以下第 2 位を四捨五入して算出したため、比率（%）の合計が 100%にならないことがある。

1. 回答者の基本情報について

問 1 業種	(1) 農林水産業	(2) 鉱業・採石業・砂利採取業、建設業
	(3) 製造業	(4) 電気・ガス・水道・熱供給業
	(5) 運輸・郵便業、通信業	(6) 卸売業、小売業
	(7) 宿泊業、飲食サービス業	(8) 金融、保険業
	(9) その他（ ）	

項目	回答数	比率 (%)
農林水産業	3	4.0%
鉱業・採石業・砂利採取業、建設業	11	14.7%
製造業	18	24.0%
電気・ガス・水道・熱供給業	1	1.3%
運輸・郵便業、通信業	2	2.7%
卸売業、小売業	15	20.0%
宿泊業、飲食サービス業	6	8.0%
金融、保険業	3	4.0%
その他	16	21.3%
無回答	0	0.0%
計	75	100.0%



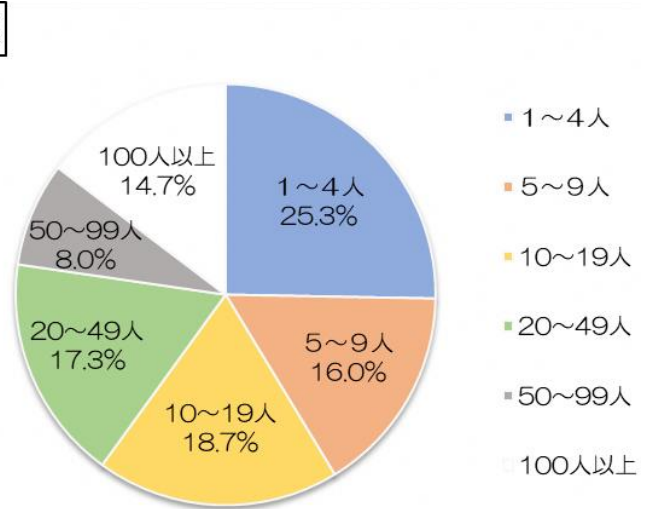
- ・ 【製造業】と回答した事業所が 24.0%と最も高く、次いで【その他】の 21.3%、【卸売業、小売業】の 20.0%が並んでいる。
- ・ 【その他】と回答した事業所の内訳は以下のとおりである。

<ul style="list-style-type: none"> ・医療（歯科） ・葬祭業 ・教育・福祉 ・旅行業、福祉用具レンタル・販売、居宅介護支援事業所、デイサービス ・ゴルフ場 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス業 ・社会福祉法人 ・医療 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育サービス業 ・障がい者福祉サービス ・建設関連業
---	--	---

問2 従業員数 (パート・アルバイト含む)	(1) 1～4人	(2) 5～9人
	(3) 10～19人	(4) 20～49人
	(5) 50～99人	(6) 100人以上

項目	回答数	比率 (%)
1～4人	19	25.3%
5～9人	12	16.0%
10～19人	14	18.7%
20～49人	13	17.3%
50～99人	6	8.0%
100人以上	11	14.7%
無回答	0	0.0%
計	75	100.0%

従業員数

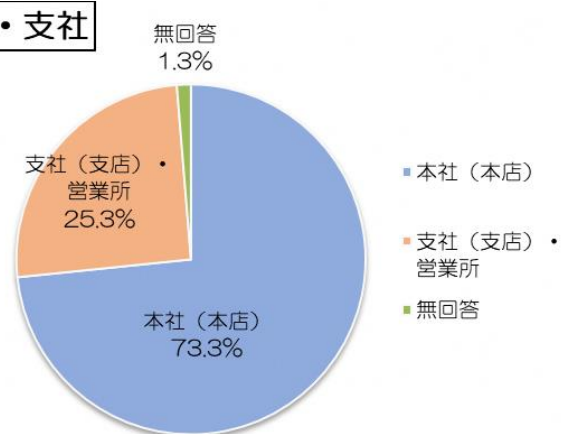


- ・ 最も多いのが【1～4人】の25.3%であった。また、従業員数20人以下の小規模事業者が全体の60%を占めている。

問3 本社・支社	(1) 本社（本店）	(2) 支社（支店）・営業所
-------------	------------	----------------

項目	回答数	比率 (%)
本社（本店）	55	73.3%
支社（支店）・営業所	19	25.3%
無回答	1	1.3%
計	75	100.0%

本社・支社

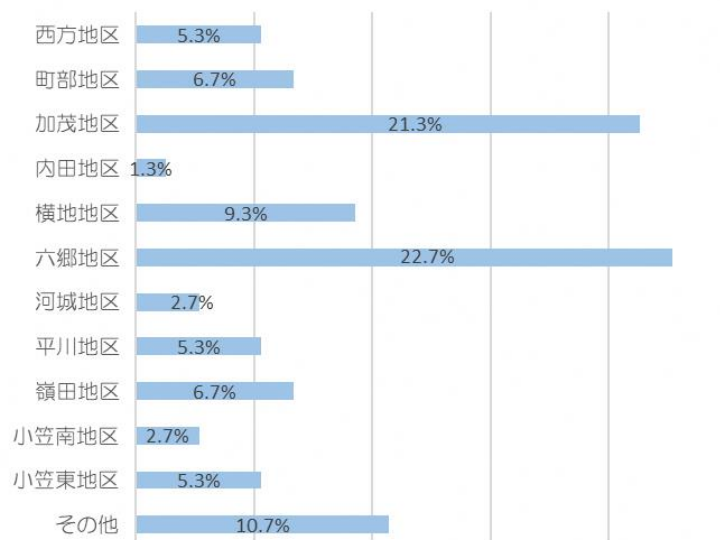


- ・ 【本社（本店）】が73.3%、【支社（支店）・営業所】が25.3%であった。

問4 所在地の地区	(1) 西方地区	(2) 町部地区
	(3) 加茂地区	(4) 内田地区
	(5) 横地地区	(6) 六郷地区
	(7) 河城地区	(8) 平川地区
	(9) 嶺田地区	(10) 小笠南地区
	(11) 小笠東地区	

項目	回答数	比率 (%)
西方	4	5.3%
町部	5	6.7%
加茂	16	21.3%
内田	1	1.3%
横地	7	9.3%
六郷	17	22.7%
河城	2	2.7%
平川	4	5.3%
嶺田	5	6.7%
小笠南	2	2.7%
小笠東	4	5.3%
その他	8	10.7%
無回答	0	0.0%
計	75	100.0%

所在地区



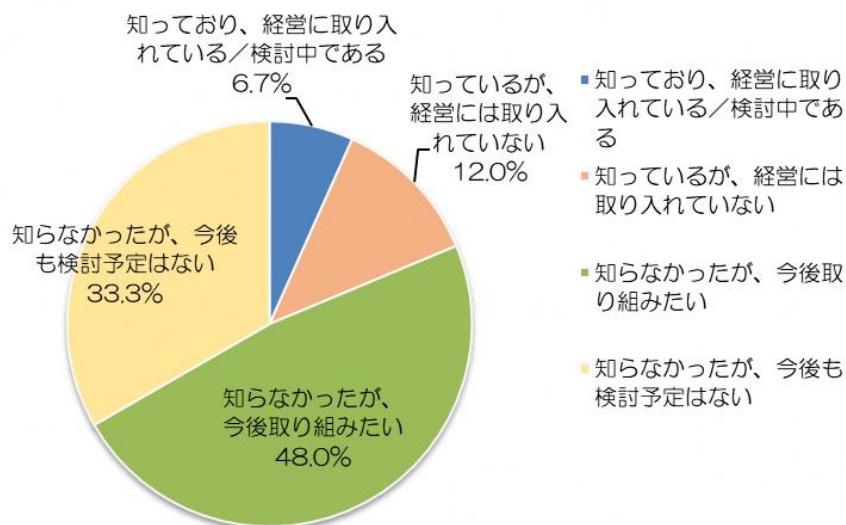
- ・【六郷】【加茂】と回答した事業所が多くそれぞれ22.7%、21.3%となっており、全体の4割近くを占めている。
- ・【その他】の所在地の地区が不明な事業所の字は以下の通りである。

・半済	・赤土	・本所
・三沢	・友田	

問5 操業年数	(1) 2年未満	(2) 2～5年未満
	(3) 5～10年未満	(4) 10～20年未満
	(5) 20年以上	

項目	回答数	比率 (%)
知っており、経営に取り入れている ／検討中である	5	6.7%
知っているが、経営には取り入れていない	9	12.0%
知らなかったが、今後取り組みたい	36	48.0%
知らなかったが、今後も検討予定はない	25	33.3%
無回答	0	0.0%
計	75	100.0%

「SDGs」の認知度

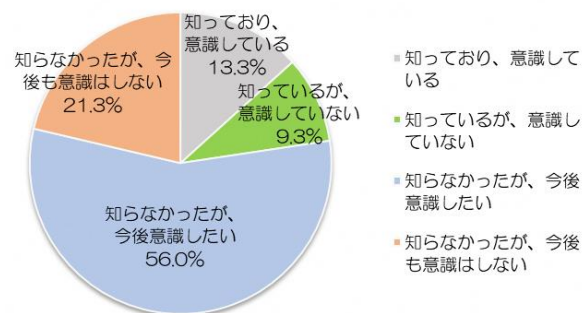


【問 8】「ESG」についてご存じですか。また、経営を行う上で ESG を意識していますか。

- (1) 知っており、意識している (2) 知っているが、意識していない
- (3) 知らなかったが、今後意識したい (4) 知らなかったが、今後も意識はしない

項目	回答数	比率 (%)
知っており、意識している	10	13.3%
知っているが、意識していない	7	9.3%
知らなかったが、今後意識したい	42	56.0%
知らなかったが、今後も意識はしない	16	21.3%
無回答	0	0.0%
計	75	100.0%

「ESG」の認知度

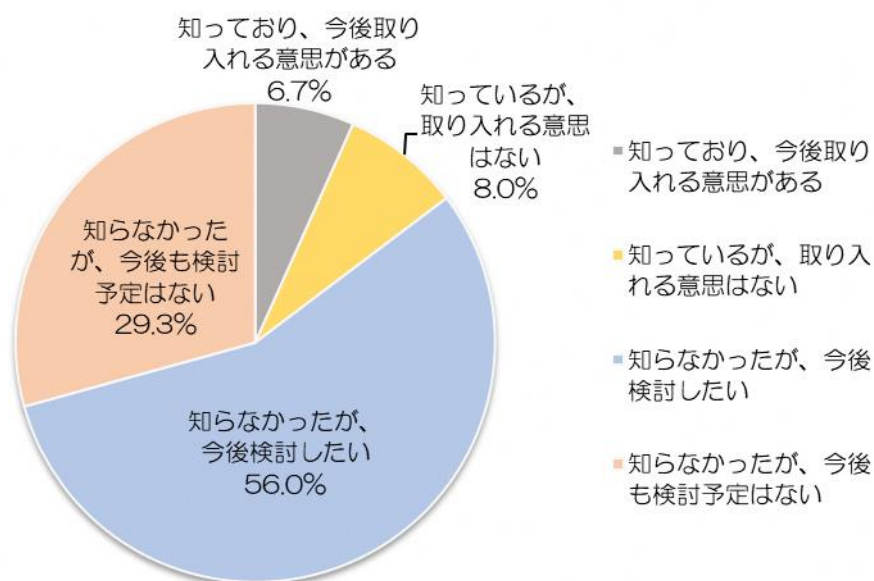


【問9】「SBT（企業版2℃目標）」、「RE100（100%再エネ導入）」についてご存じですか。また、それらの考え方を経営に取り入れる意思はありますか

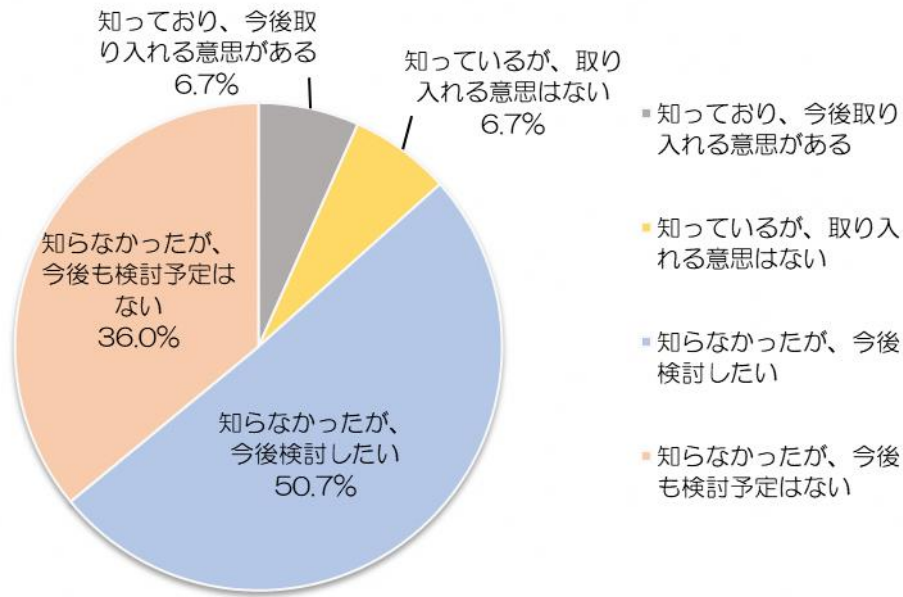
1. 「SBT」について	(1) 知っており、今後取り入れる意思がある	(2) 知っているが、取り入れる意思はない
	(3) 知らなかったが、今後検討したい	(4) 知らなかったが、今後も検討予定はない
2. 「RE100」について	(1) 知っており、今後取り入れる意思がある	(2) 知っているが、取り入れる意思はない
	(3) 知らなかったが、今後検討したい	(4) 知らなかったが、今後も検討予定はない

項目	「SBT」について		「RE100」について	
	回答数	比率 (%)	回答数	比率 (%)
知っており、今後取り入れる意思がある	5	6.7%	5	6.7%
知っているが、取り入れる意思はない	6	8.0%	5	6.7%
知らなかったが、今後検討したい	42	56.0%	38	50.7%
知らなかったが、今後も検討予定はない	22	29.3%	27	36.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
計	75	100.0%	75	100.0%

「SBT（企業版2℃目標）」の認知度



「RE100（100%再エネ導入）」の認知度



- ・ 「COOL CHOICE」同様、各項目の認知度についてはまだ高くはないが、【知らなかったが今後取り組みたい】【知らなかったが、今後検討したい】がいずれの項目についても全体の半数近くを占めており、環境に対して意欲的な事業所が多いことが窺える結果となった。

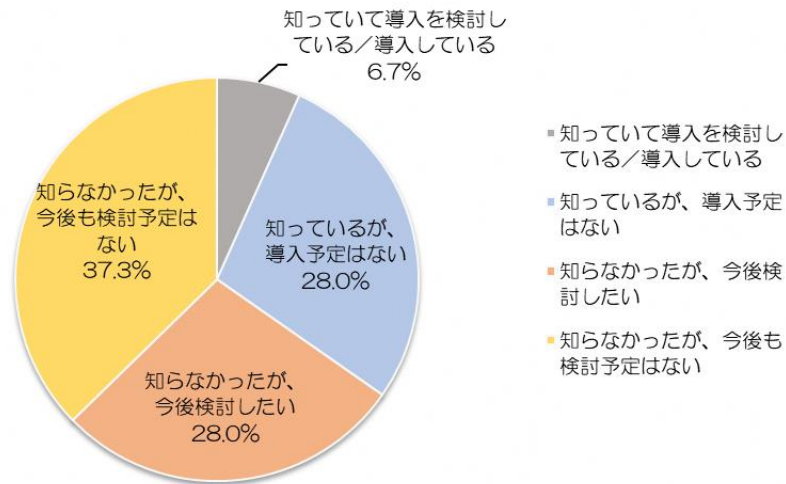
【問 10】「ZEB」「ZEH」についてご存じですか。また、社屋への導入予定はありますか。

- (1) 知っていて導入を検討している／導入している (2) 知っているが、導入予定はない
- (3) 知らなかったが、今後検討したい (4) 知らなかったが、今後も検討予定はない

項目	回答数	比率 (%)
知っていて導入を検討している／導入している	5	6.7%
知っているが、導入予定はない	21	28.0%
知らなかったが、今後検討したい	21	28.0%
知らなかったが、今後も検討予定はない	28	37.3%
無回答	0	0.0%
計	75	100.0%

- ・ ZEB/ZEHについては、【知らなかったが、今後も検討予定はない】が37.3%と最も回答数が多い結果となった。また、【知っているが、導入予定はない】の28%と併せて65.3%となっており、事業所における施設・設備改修の難しさが伺える結果となった。

「ZEB」「ZEH」の認知度

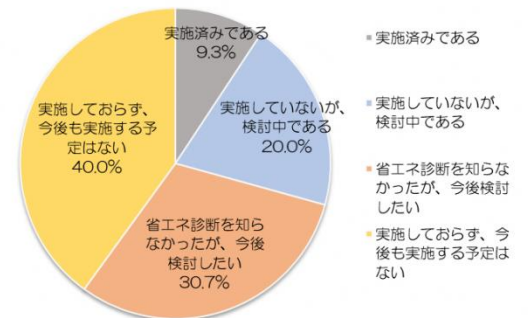


【問 11】 貴事業所の「省エネ診断」の実施状況をお聞かせください。

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| (1) 実施済みである | (2) 実施していないが、検討中である |
| (3) 省エネ診断を知らなかったが、今後検討したい | (4) 実施しておらず、今後も実施する予定はない |

項目	回答数	比率 (%)
実施済みである	7	9.3%
実施していないが、検討中である	15	20.0%
省エネ診断を知らなかったが、今後検討したい	23	30.7%
実施しておらず、今後も実施する予定はない	30	40.0%
無回答	0	0.0%
計	75	100.0%

「省エネ診断」の実施状況



- 【実施しておらず、今後も実施する予定はない】が40%と最多の結果となったが、【実施していないが、検討中である】の20%、【省エネ診断を知らなかったが、今後検討したい】が30.7%と、両項目併せて全体の半数を占めており、制度について関心のある事業所も多いことが明らかとなった。

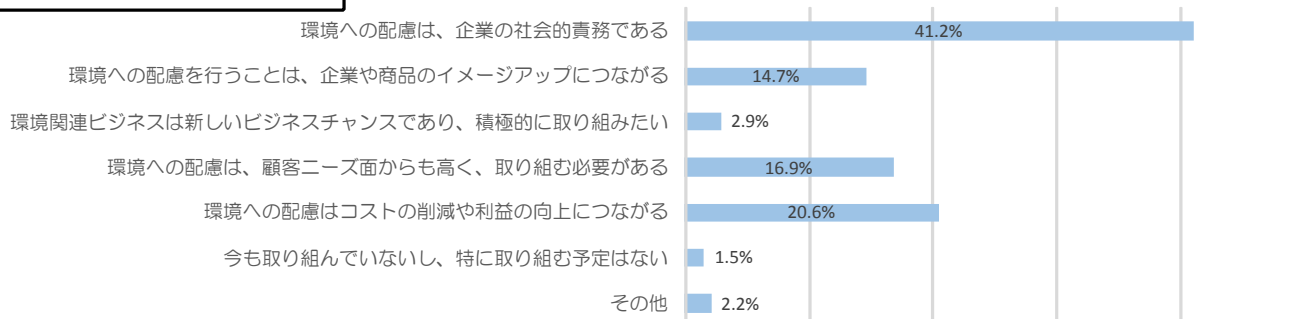
3. 環境保全の考え方

【問 12】環境保全に関する考え方について、貴事業所の立場から当てはまるものを2つまで選んで番号に○印をつけてください。

- (1) 環境への配慮は、企業の社会的責務である
- (2) 環境への配慮を行うことは、企業や商品のイメージアップにつながる
- (3) 環境関連ビジネスは新しいビジネスチャンスであり、積極的に取り組みたい
- (4) 環境への配慮は、顧客ニーズ面からも高く、取り組む必要がある
- (5) 環境への配慮はコストの削減や利益の向上につながる
- (6) 今も取り組んでいないし、特に取り組む予定はない
- (7) その他 ()

項目	回答数	比率 (%)
環境への配慮は、企業の社会的責務である	56	41.2%
環境への配慮を行うことは、企業や商品のイメージアップにつながる	20	14.7%
環境関連ビジネスは新しいビジネスチャンスであり、積極的に取り組みたい	4	2.9%
環境への配慮は、顧客ニーズ面からも高く、取り組む必要がある	23	16.9%
環境への配慮はコストの削減や利益の向上につながる	28	20.6%
今も取り組んでいないし、特に取り組む予定はない	2	1.5%
その他	3	2.2%
無回答	0	0.0%
計	136	100.0%

環境保全に関する考え方



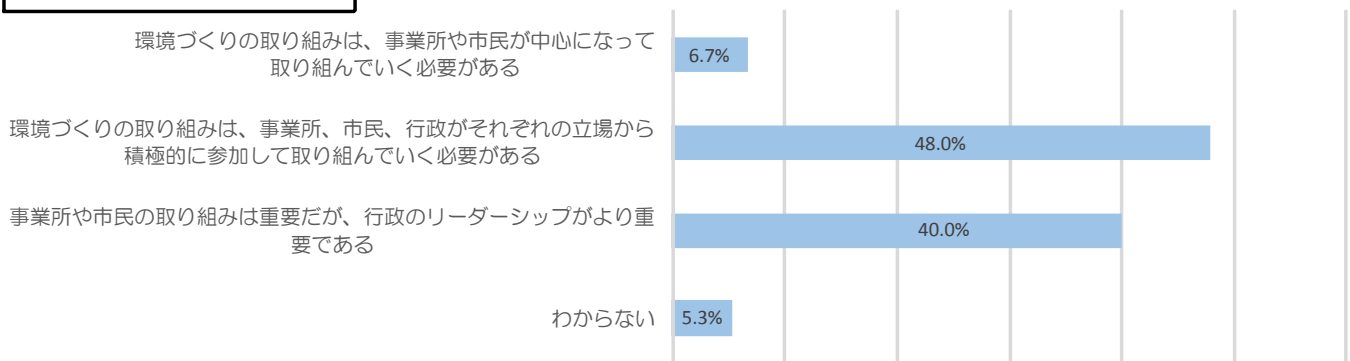
- ・ 【環境への配慮は、企業の社会的責務である】と考えている事業所が最も多く、41.2%となった。
- ・ 最も低い回答数であった項目は【環境関連ビジネスは新しいビジネスチャンスであり、積極的に取り組みたい】であり、環境に関する意識調査での ESG の認知度調査と同様、環境と経営を関連して操業する事業所はまだ少ないとの結果になった。

【問 13】環境保全に関する取り組みを進めて行くにあたり、貴事業所の考えに最も近いものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

- (1) 環境づくりの取り組みは、事業所や市民が中心になって取り組んでいく必要がある
- (2) 環境づくりの取り組みは、事業所、市民、行政がそれぞれの立場から積極的に参加して取り組んでいく必要がある
- (3) 事業所や市民の取り組みは重要だが、行政のリーダーシップがより重要である
- (4) わからない

項目	回答数	比率 (%)
環境づくりの取り組みは、事業所や市民が中心になって取り組んでいく必要がある	5	6.7%
環境づくりの取り組みは、事業所、市民、行政がそれぞれの立場から積極的に参加して取り組んでいく必要がある	36	48.0%
事業所や市民の取り組みは重要だが、行政のリーダーシップがより重要である	30	40.0%
わからない	4	5.3%
無回答	0	0.0%
計	75	100.0%

環境保全に関する取組



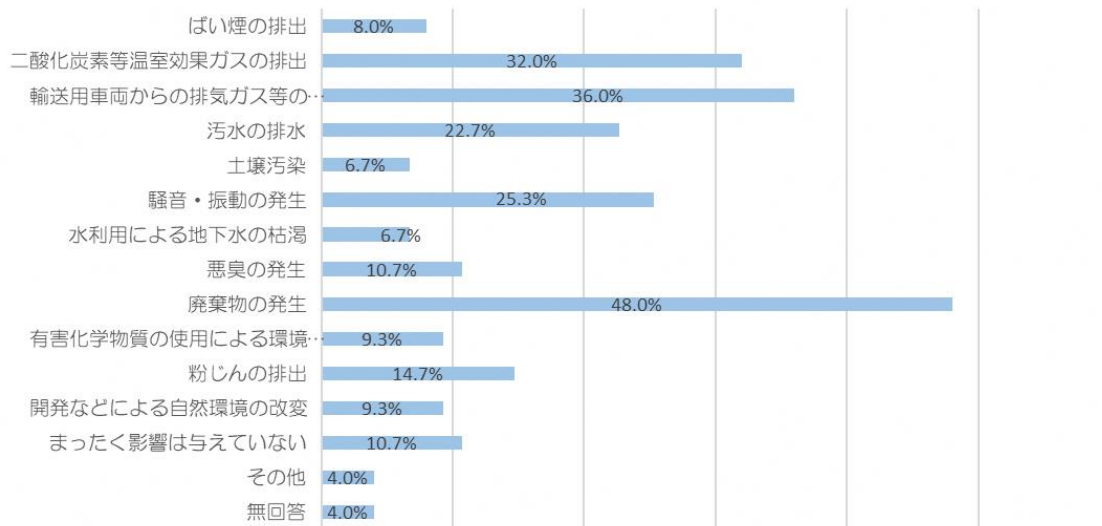
- ・ 【環境づくりの取り組みは、事業所、市民、行政がそれぞれの立場から積極的に参加して取り組んでいく必要がある】の回答数が48%であり、それぞれの主体による行動を重要視する事業者が最も多い一方で、【事業所や市民の取り組みは重要だが、行政のリーダーシップがより重要である】が40%であり、行政による主導が肝要であると考える事業所もほぼ同数近くであった。

【問 14】 貴事業所の事業活動により、環境に影響を与えていると思うものについて、当てはまるものをすべて選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| (1) ばい煙の排出 | (8) 悪臭の発生 |
| (2) 二酸化炭素等温室効果ガスの排出 | (9) 廃棄物の発生 |
| (3) 輸送用車両からの排気ガス等の発生 | (10) 有害化学物質の使用による環境汚染 |
| (4) 汚水の排水 | (11) 粉じんの排出 |
| (5) 土壌汚染 | (12) 開発などによる自然環境の改変 |
| (6) 騒音・振動の発生 | (13) まったく影響は与えていない |
| (7) 水利用による地下水の枯渇 | (14) その他 () |

項目	回答数	比率 (%)
ばい煙の排出	6/75	8.0%
二酸化炭素等温室効果ガスの排出	24/75	32.0%
輸送用車両からの排気ガス等の発生	27/75	36.0%
汚水の排水	17/75	22.7%
土壌汚染	5/75	6.7%
騒音・振動の発生	19/75	25.3%
水利用による地下水の枯渇	5/75	6.7%
悪臭の発生	8/75	10.7%
廃棄物の発生	36/75	48.0%
有害化学物質の使用による環境汚染	7/75	9.3%
粉じんの排出	11/75	14.7%
開発などによる自然環境の改変	7/75	9.3%
まったく影響は与えていない	8/75	10.7%
その他	3/75	4.0%
無回答	3/75	4.0%

事業活動により環境に影響を与えていると思うもの



- ・ 【廃棄物の発生】と回答した事業所が最も多く48%であった。次いで【輸送用車両からの排気ガス等の発生】、【二酸化炭素等温室効果ガスの排出】がそれぞれ36%、32%となった。

4. 環境関連の取組状況について

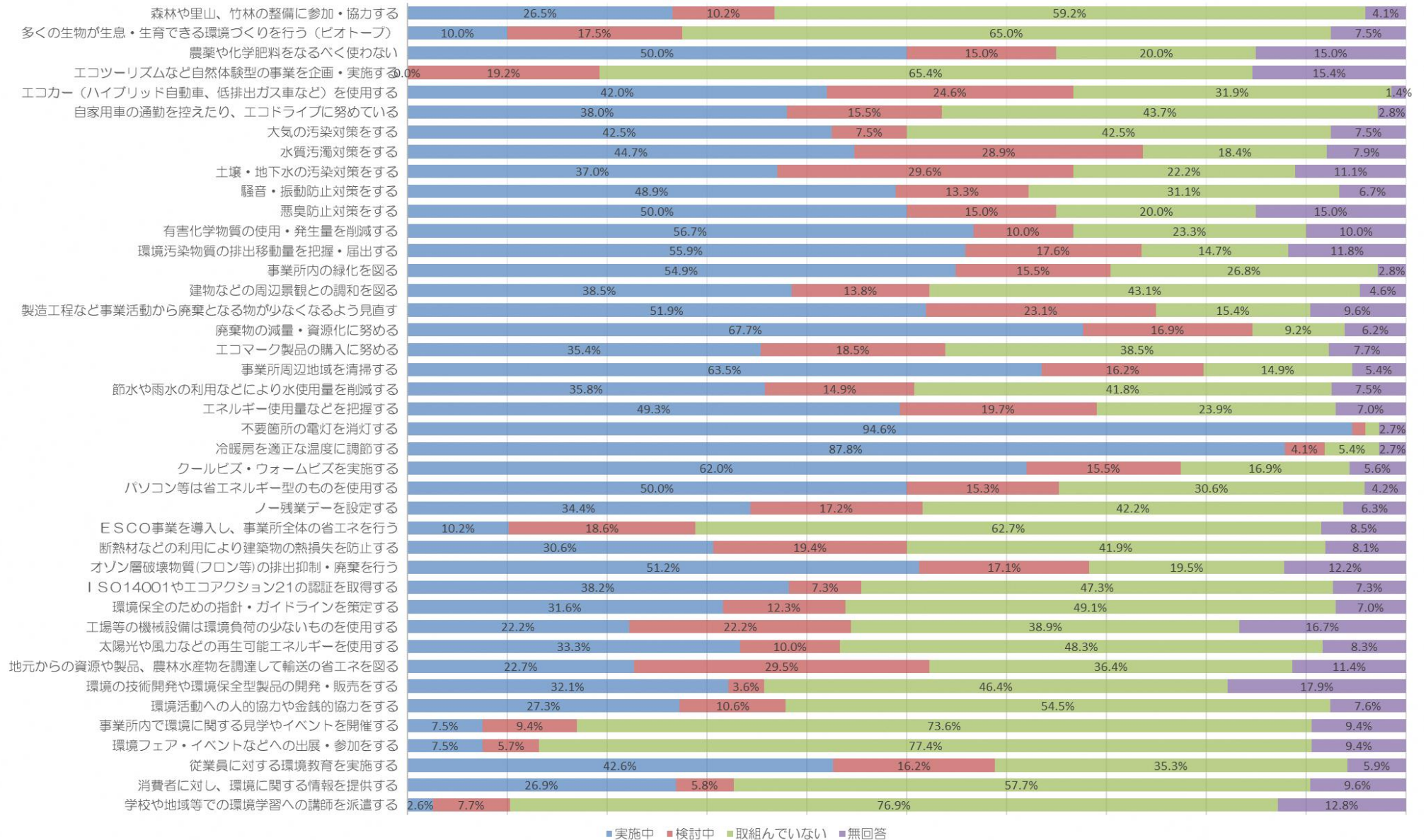
項目	実施中	検討中	取組んでいない	該当しない	無回答	合計
森林や里山、竹林の整備に参加・協力する	13	5	29	26	2	75
	17.3%	6.7%	38.7%	34.7%	2.7%	100.0%
多くの生物が生息・生育できる環境づくりを行う（ビオトープ）	4	7	26	35	3	75
	5.3%	9.3%	34.7%	46.7%	4.0%	100.0%
農薬や化学肥料をなるべく使わない	10	3	4	55	3	75
	13.3%	4.0%	5.3%	73.3%	4.0%	100.0%
エコツアーなど自然体験型の事業を企画・実施する	0	5	17	49	4	75
	0.0%	6.7%	22.7%	65.3%	5.3%	100.0%
エコカー（ハイブリッド自動車、低排出ガス車など）を使用する	29	17	22	6	1	75
	38.7%	22.7%	29.3%	8.0%	1.3%	100.0%
自家用車の通勤を控えたり、エコドライブに努めている	27	11	31	4	2	75
	36.0%	14.7%	41.3%	5.3%	2.7%	100.0%
大気汚染対策をする	17	3	17	35	3	75
	22.7%	4.0%	22.7%	46.7%	4.0%	100.0%
水質汚濁対策をする	17	11	7	37	3	75
	22.7%	14.7%	9.3%	49.3%	4.0%	100.0%
土壌・地下水の汚染対策をする	10	8	6	48	3	75
	13.3%	10.7%	8.0%	64.0%	4.0%	100.0%
騒音・振動防止対策をする	22	6	14	30	3	75
	29.3%	8.0%	18.7%	40.0%	4.0%	100.0%
悪臭防止対策をする	10	3	4	55	3	75
	13.3%	4.0%	5.3%	73.3%	4.0%	100.0%
有害化学物質の使用・発生量を削減する	17	3	7	45	3	75
	22.7%	4.0%	9.3%	60.0%	4.0%	100.0%
環境汚染物質の排出移動量を把握・届出する	19	6	5	41	4	75
	25.3%	8.0%	6.7%	54.7%	5.3%	100.0%
事業所内の緑化を図る	39	11	19	4	2	75
	52.0%	14.7%	25.3%	5.3%	2.7%	100.0%
建物などの周辺景観との調和を図る	25	9	28	10	3	75
	33.3%	12.0%	37.3%	13.3%	4.0%	100.0%
製造工程など事業活動から廃棄となる物が少なくなるよう見直す	27	12	8	23	5	75
	36.0%	16.0%	10.7%	30.7%	6.7%	100.0%
廃棄物の減量・資源化に努める	44	11	6	10	4	75
	58.7%	14.7%	8.0%	13.3%	5.3%	100.0%

項目	実施中	検討中	取組んでいない	該当しない	無回答	合計
エコマーク製品の購入に努める	23	12	25	10	5	75
	30.7%	16.0%	33.3%	13.3%	6.7%	100.0%
事業所周辺地域を清掃する	47	12	11	1	4	75
	62.7%	16.0%	14.7%	1.3%	5.3%	100.0%
節水や雨水の利用などにより水使用量を削減する	24	10	28	8	5	75
	32.0%	13.3%	37.3%	10.7%	6.7%	100.0%
エネルギー使用量などを把握する	35	14	17	4	5	75
	46.7%	18.7%	22.7%	5.3%	6.7%	100.0%
不要箇所の電灯を消灯する	70	1	1	1	2	75
	93.3%	1.3%	1.3%	1.3%	2.7%	100.0%
冷暖房を適正な温度に調節する	65	3	4	1	2	75
	86.7%	4.0%	5.3%	1.3%	2.7%	100.0%
クールビズ・ウォームビズを実施する	44	11	12	4	4	75
	58.7%	14.7%	16.0%	5.3%	5.3%	100.0%
パソコン等は省エネルギー型のものを使用する	36	11	22	3	3	75
	48.0%	14.7%	29.3%	4.0%	4.0%	100.0%
ノー残業デーを設定する	22	11	27	11	4	75
	29.3%	14.7%	36.0%	14.7%	5.3%	100.0%
E S C O事業を導入し、事業所全体の省エネを行う	6	11	37	16	5	75
	8.0%	14.7%	49.3%	21.3%	6.7%	100.0%
断熱材などの利用により建築物の熱損失を防止する	19	12	26	13	5	75
	25.3%	16.0%	34.7%	17.3%	6.7%	100.0%
オゾン層破壊物質(フロン等)の排出抑制・廃棄を行う	21	7	8	34	5	75
	28.0%	9.3%	10.7%	45.3%	6.7%	100.0%
I S O 14001 やエコアクション21 の認証を取得する	21	4	26	20	4	75
	28.0%	5.3%	34.7%	26.7%	5.3%	100.0%
環境保全のための指針・ガイドラインを策定する	18	7	28	18	4	75
	24.0%	9.3%	37.3%	24.0%	5.3%	100.0%
工場等の機械設備は環境負荷の少ないものを使用する	8	8	14	39	6	75
	10.7%	10.7%	18.7%	52.0%	8.0%	100.0%
太陽光や風力などの再生可能エネルギーを使用する	20	6	29	15	5	75
	26.7%	8.0%	38.7%	20.0%	6.7%	100.0%
地元からの資源や製品、農林水産物を調達して輸送の省エネを図る	10	13	16	31	5	75
	13.3%	17.3%	21.3%	41.3%	6.7%	100.0%

項目	実施中	検討中	取組んでいない	該当しない	無回答	合計
環境の技術開発や環境保全型製品の開発・販売をする	9	1	13	47	5	75
	12.0%	1.3%	17.3%	62.7%	6.7%	100.0%
環境活動への人的協力や金銭的協力をする	18	7	36	9	5	75
	24.0%	9.3%	48.0%	12.0%	6.7%	100.0%
事業所内で環境に関する見学やイベントを開催する	4	5	39	22	5	75
	5.3%	6.7%	52.0%	29.3%	6.7%	100.0%
環境フェア・イベントなどへの出展・参加をする	4	3	41	22	5	75
	5.3%	4.0%	54.7%	29.3%	6.7%	100.0%
従業員に対する環境教育を実施する	29	11	24	7	4	75
	38.7%	14.7%	32.0%	9.3%	5.3%	100.0%
消費者に対し、環境に関する情報を提供する	14	3	30	23	5	75
	18.7%	4.0%	40.0%	30.7%	6.7%	100.0%
学校や地域等での環境学習への講師を派遣する	1	3	30	36	5	75
	1.3%	4.0%	40.0%	48.0%	6.7%	100.0%

- 最も回答率が高い項目は【不要箇所の電灯を消灯する】の93.3%、【冷暖房を適正な温度に調節する】の86.7%など、業務の範囲内で無理なく実行できるものが中心となっている。また、「COOL CHOICE の認知度調査」における認知度、賛同数が低かったことに対して、本項目では9割近くの事業所がCOOL CHOICEに該当する行動を実施しているとの結果が表れていることから、運動自体の認知度がまだ定着していないことが浮き彫りとなった。
- 最も回答数の実施率の低い項目では、【エコツーリズムなど自然体験型の事業を企画・実施する】が0%、【事業所内で環境に関する見学やイベントを開催する】【環境フェア・イベントなどへの出展・参加をする】がともに5.3%、【学校や地域等での環境学習への講師を派遣する】が1.3%であり、いずれも事業と直接関わりのない環境学習や環境イベントへの参画が課題となっている。

環境関連の取組状況について



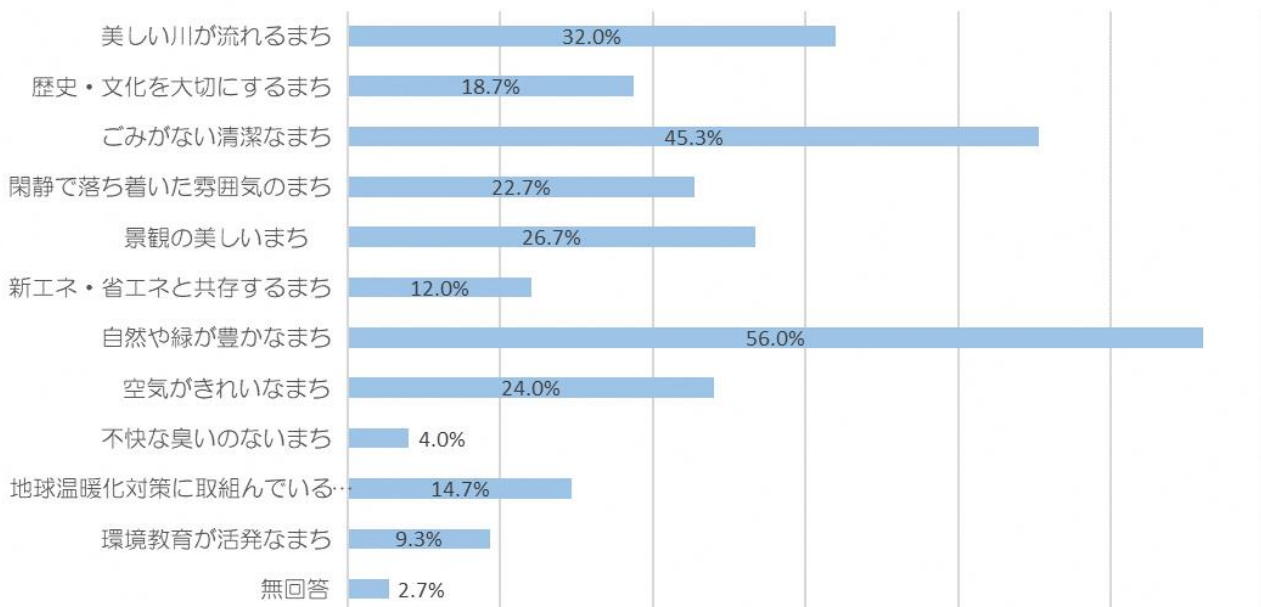
※ 本グラフ【該当しない】の事業所を除いた割合で作成

5. 菊川市の環境行政について

【問 16】 今後菊川市に望む将来の環境像について、貴事業所の考えとして当てはまるものを3つまで選んで番号に○印をつけてください。

項目	回答数	選択率 (%)
美しい川が流れるまち	24/75	32.0%
歴史・文化を大切にするまち	14/75	18.7%
ごみがない清潔なまち	34/75	45.3%
閑静で落ち着いた雰囲気のみち	17/75	22.7%
景観の美しいまち	20/75	26.7%
新エネ・省エネと共存するまち	9/75	12.0%
自然や緑が豊かなまち	42/75	56.0%
空気がきれいなまち	18/75	24.0%
不快な臭いのないまち	3/75	4.0%
地球温暖化対策に取り組んでいるまち	11/75	14.7%
環境教育が活発なまち	7/75	9.3%
無回答	2/75	2.7%

菊川市に望む将来の環境像について

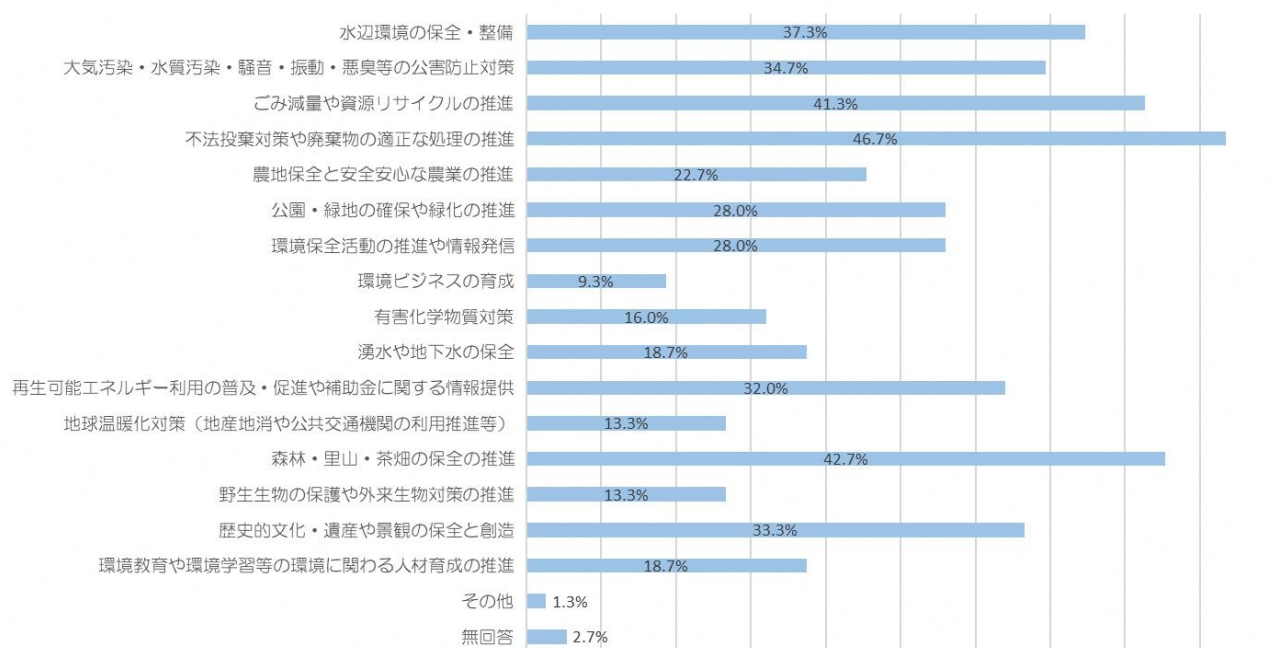


- ・ 【自然や緑が豊かなまち】が56%と過半数の事業所が自然環境を重要視する結果となった。次いで、【ごみがない清潔なまち】が45.3%、【美しい川が流れるまち】が32%となった。

【問 17】 貴事業所が行政に期待する環境関連施策・取組について、当てはまるものをすべて選んで番号に○印をつけてください。

項目	回答数	選択率 (%)
水辺環境の保全・整備	28/75	37.3%
大気汚染・水質汚染・騒音・振動・悪臭等の公害防止対策	26/75	34.7%
ごみ減量や資源リサイクルの推進	31/75	41.3%
不法投棄対策や廃棄物の適正な処理の推進	35/75	46.7%
農地保全と安全安心な農業の推進	17/75	22.7%
公園・緑地の確保や緑化の推進	21/75	28.0%
環境保全活動の推進や情報発信	21/75	28.0%
環境ビジネスの育成	7/75	9.3%
有害化学物質対策	12/75	16.0%
湧水や地下水の保全	14/75	18.7%
再生可能エネルギー利用の普及・促進や補助金に関する情報提供	24/75	32.0%
地球温暖化対策（地産地消や公共交通機関の利用推進等）	10/75	13.3%
森林・里山・茶畑の保全の推進	32/75	42.7%
野生生物の保護や外来生物対策の推進	10/75	13.3%
歴史的文化・遺産や景観の保全と創造	25/75	33.3%
環境教育や環境学習等の環境に関わる人材育成の推進	14/75	18.7%
その他	1/75	1.3%
無回答	2/75	2.7%

行政に期待する環境関連施策・取組について



- ・ 行政に期待する施策として最も高かったのが【不法投棄対策や廃棄物の適正な処理の推進】の46.7%であった。次いで【森林・里山・茶畑の保全の推進】が42.7%、【ごみ減量や資源リサイクルの推進】が41.3%とほぼ横並びの結果となった。
- ・ 最も低い項目が【環境ビジネスの育成】の9.3%となった。次いで【地球温暖化対策（地産地消や公共交通機関の利用推進等）】と【野生生物の保護や外来生物対策の推進】がともに13.3%となった。

6. 自由意見

【問 18】 菊川市の環境行政や、環境基本計画の策定に向けて貴事業所のご意見を自由にご記入ください。

- ・ 下記に事業所から寄せられた全ての意見を記載する。

・ 行政側から今まで以上に菊川市の将来像（ビジョン）を市民や事業所に向けて明確に示していただき、具体的な取組やその進捗を様々な方法でアナウンスしていく工夫をしないと「笛ふけども踊らず」という結果になりかねないと思います。”HP に載せた”だけでなく、そこへアクセスさせる工夫も必要だと感じました。

・ 仕事から他の市町の方との付き合いがあり、菊川市は住み良い町ではないかと言われた事があります。私も菊川に住んで50年になりますが、皆様に自慢できます。これからもよろしくお願いします。

・ 当社としても環境を意識した事業を進めたいと思いますが、中小零細企業にとって今の経済情勢では取り組む余力がないのが実情です。現実としてコスト削減や事業として売上につながることでないと難しいと思います。

・ 環境行政・基本計画の策定には参加できませんが、ご指導を頂ければ前向きに協力したいと考えております。

・ 以前、自治会から周辺の「溝」「草取り」「ゴミ拾い」の一斉実施の連絡があり、参加したことがあるが、事業所の周りは店舗が多い所だが、当日他事業所で作業を実施している様子がなかった。この地域で事業をさせて頂いている以上、個人・法人の区別のなく徹底して一斉に行うべきだと思う。事業所の場合は・何人参加 ・何をやる を明確にして作業後の出来栄を確認する等を行い、責任を持たせるくらいのスタンスで行うことを望みます。

・ 放棄地・空き家対策 ☆環境保全の継続への少子化・人口減少への取り組み

・ 当市はばい煙、悪臭、汚水等の発生が少ないと思われ、住み良い地域だと感じています。一方、農業従事者の高齢化、茶価の低迷により、耕作放棄地の増大、里山の荒れが進んでいる。緑地環境の悪化が危惧されていることから、地主だけの問題とせず市全体で取り組んでいただきたい。

・ 公園整備がよくされていると思います。

・ 近年は想定外の気象現象、地震、台風等が発生しています。環境計画策定にあたっては、災害に強いまちづくりの視点に立って考えていただけたらと思います。

・ 振動計を借りられるようお願いします。